


DocuWide 9098α

かんたんガイド

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、およびInternet Explorerは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Adobe、Acrobat、PostScript、PostScript 3、およびPostScriptロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
HP、HP-GL、HP-GL/2、およびHP-RTLは、米国ヒューレット・パカード社の登録商標です。
Monta Vista Linux は、MontaVista Software, Inc. の登録商標です。
RSAおよびBSAFEは、EMCコーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。
Microsoft Corporationの許可を得て画面写真を使用しています。
ライセンスについては、メディア（ソフトウェア/製品マニュアル）の「ライセンスについて」を参照してください。

この取扱説明書のなかで  と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

万一本体の記憶媒体（ハードディスク等）に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータ等が消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

平成明朝体™W3、平成角ゴシック™W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

Xerox、Xeroxロゴ、Fuji Xeroxロゴ、およびCentreWareは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。
DocuWorks、およびDocuWideは、富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

DocuWide 9098α

かんたんガイド

はじめに

このたびはDocuWide 9098αをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

このかんたんガイドには、本機の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。本機の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、本機をご使用になる前に、必ず最初にこのかんたんガイドをお読みのうえ、正しくご利用ください。

本書は、本機をはじめてご使用になるかたを対象に、日常の管理方法、コピー/スキャン機能の基本的な操作方法などについて記載しています。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。

お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピュータ、オペレーティングシステム、ネットワークシステムに付属の説明書をお読みください。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読み直してご利用いただけます。

富士ゼロックス株式会社

弊社は、製品の研究開発から廃棄にいたる事業活動全般において、地球環境の保全を経営の重要課題のひとつに位置づけております。これまでも環境負荷を低減するために、生産施設におけるフロンの全廃など、さまざまな活動を展開してまいりました。

また、お客様の身近なところでは、複写機やプリンターで使用した用紙、消耗品のカートリッジやパーツなどのリサイクルを推進することにより、今後も資源の保護に積極的に取り組んでまいります。

このような活動の一環として、DocuWide 9098αに、弊社の品質基準に適合したリサイクル・パーツを使用しております。

もくじ

はじめにお読みください

1

紙づまりクイックアクセス

2

注意 / 制限事項について

3

DocuWide 9098α の活用事例

4

さくいん

こんなときには

もくじ

はじめに	3
もくじ.....	4
マニュアル体系	6
本書の使い方.....	7
安全にご利用いただくために	10
環境について.....	20
EMC 規制について	21
法律上の注意事項	22

第1章 はじめにお読みください..... 23

1.1 各部の名称と働き	24
1.2 電源について	29
1.2.1 電源を入れる	29
1.2.2 電源を切る.....	30
1.3 用紙を補給/交換する	31
1.3.1 ロール紙を交換/カットする	31
1.3.2 カット紙を補給/交換する	34
1.4 メーターを確認する	36
1.5 消耗品を交換する.....	38
1.5.1 黒トナーを補給する	40
1.5.2 赤トナーを補給する	42
1.6 本機を清掃する	45
1.7 原稿と用紙について	48
1.7.1 原稿について	48
1.7.2 用紙について	48

第2章 紙づまりクイックアクセス

2.1 スキャナーの処置箇所	52
2.2 プリンターの処置箇所	53
2.3 フォルダーの処置箇所	54

第3章 注意/制限事項について..... 57

3.1 注意/制限事項について..... 58

3.1.1 本機使用上の注意/制限..... 58

3.1.2 コピー機能での注意/制限..... 59

3.1.3 スキャン機能での注意/制限..... 60

3.1.4 スキャナー & コピー機能での注意/制限..... 64

3.1.5 プリント機能での注意/制限..... 67

3.1.6 IPv6 接続の注意/制限..... 68

3.1.7 その他の注意/制限..... 69

第4章 DocuWide 9098α の活用事例..... 71

4.1 コピーする..... 72

4.1.1 用紙サイズを指定してコピーする（オートモード）..... 72

4.1.2 原稿上の指定した色を赤色でコピーする（赤黒コピー）..... 74

4.1.3 原稿上の色を編集する..... 75

4.1.4 手差しで給紙する（手差しコピー）..... 77

4.1.5 長尺原稿をコピーする..... 80

4.1.6 紙折りしてコピーする..... 81

4.1.7 複数枚の原稿をコピーする（1部ごとにソート）..... 82

4.1.8 コピージョブメモリーを呼び出す..... 84

4.1.9 そのほかのコピー機能..... 85

4.2 スキャンする..... 86

4.2.1 原稿上の指定した色を赤色でスキャンする（赤黒スキャン）..... 87

さくいん..... 89

こんなときには..... 91

マニュアル体系

次のマニュアルを用意しています。

本機マニュアル

- **かんたんガイド<本書> (冊子/DVD-ROM)**

本機で使用できる主な機能の紹介と、基本的な操作方法、使用上の注意事項などについて説明しています。

- **ユーザーズガイド (DVD-ROM)**

日常の管理方法、コピー/スキャン/プリント機能の操作方法、紙づまりの処置方法、各種設定項目、および注意/制限事項などについて説明しています。

オプション製品マニュアル

オプション製品マニュアルでは、オプション製品の操作方法、ソフトウェアのインストール手順などについて説明しています。

本書の使い方

本書は、本機をはじめてご使用になるかたを対象に、本機の操作方法や日常の管理方法、および使用上の注意事項を記載しています。




本書の構成

本書は、次のような構成になっています。

- 第1章 はじめにお読みください
各部の名称、電源の入/切、用紙の補給方法など、本機の基本的な操作について説明しています。
 - 第2章 紙づまりクイックアクセス
紙づまりの箇所をまとめて説明しています。紙づまりの対処にご活用ください。
 - 第3章 注意/制限事項について
注意/制限事項について説明しています。
 - 第4章 DocuWide 9098α の活用事例
コピー機能の基本的な使い方や、スキャナー機能の概要について説明しています。
-

本書の表記

本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

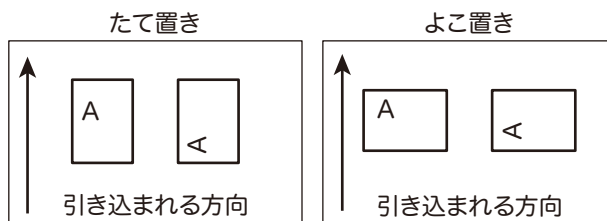
-  **注記** 必ず知っておいていただきたい情報、操作するときに必ず確認していただきたい情報を記載しています。
-  **補足** 操作の参考になる情報を記載しています。
-  **参照** 参照先を記述しています。

本文中では、次の記号を使用しています。

- 「 」
 - 本書内にある参照先を表しています。
 - DVD-ROM、機能、タッチパネルディスプレイのメッセージなどの名称や入力文字などを表しています。
- 『 』
 - 本書以外の参照するマニュアルを表しています。
- []
 - 本機のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
 - コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
- < > ボタン
 - 操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
- < > キー
 - コンピューターのキーボード上のキーを表しています。
- >
 - 操作パネルで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。
例：「[仕様設定] > [共通設定] > [詳細設定] を選択します。」は、「[仕様設定] を押して、[共通設定] を押したあと、[詳細設定] を選択します。」という手順を省略して記載したものです。
 - コンピューターで順に項目をクリックする手順を、省略して表しています。
例：「[スタート] > [検索] > [他のコンピュータ] で検索します。」は、「[スタート] ボタンをクリックして、[検索]、[他のコンピュータ] を順にクリックして検索します。」という手順を省略して記載したものです。

本文中では、原稿または用紙の向きを、次のように表しています。

- ☐、☐、 たて置き本機の正面から見て、原稿や用紙をたて長にセットした状態を表しています。
- ☐、☐、 よこ置き本機の正面から見て、原稿や用紙をよこ長にセットした状態を表しています。



- 本書に記載している画面や本機のイラストは、各種オプション製品が装着された状態のもので、使用している機械の構成によっては、表示されない項目や使用できない機能があります。
- 各種ドライバーやユーティリティソフトウェアのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものと異なる場合があります。
- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本書では、主にWindows® 7で使用した場合の操作例を記述しています。Windows 7以外のOSをお使いの場合は、操作方法や画面が異なることがあります。

安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

 警告	新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。
各警告図記号は以下のような意味を表しています	
 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。
△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。	
       	
静電気破損注意 注 意 発火注意 破裂注意 感電注意 高温注意 回転物注意 指挟み注意	
⊘記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。	
      	
禁 止 火気禁止 接触禁止 風呂等での使用禁止 分解禁止 水ぬれ禁止 ぬれ手禁止	
●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。	
  	
指 示 電源プラグを抜け アース線を接続せよ	

電源およびアース設置時の注意

⚠ 警告



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため機械の後方から電源コードとともに出ている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 850 mm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります危険です。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

アースとの接続が不十分な場合、感電の原因となるおそれがあります。



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、機械には D 種以上の接地工事を必ず実施してください。



電源コードは、機械近くのアースが確実に取れるコンセントに、単独で差し込んでください。延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご相談ください。



機械の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。機械の定格電圧値および定格電流値は、機械背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。



電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。



電源コードにものを載せないでください。



電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。

また、専用電源コードをほかの機器に使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意



機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。



機械の清掃を行う場合は、機械の電源スイッチおよび配電盤のスイッチを切ってください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。



機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。



連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。



連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために機械の電源スイッチおよび配電盤のスイッチを切ってください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。



1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはないか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリが付いていないか。
- 電源コードにきれつや擦り傷などがいないか。

異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

設置時の注意

⚠ 警告



機械は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

⚠ 注意



以下のような場所には機械を設置しないでください。

- 発熱器具に近い場所
- 揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- 高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- 直射日光の当たる場所
- 調理台や加湿器のそばなど



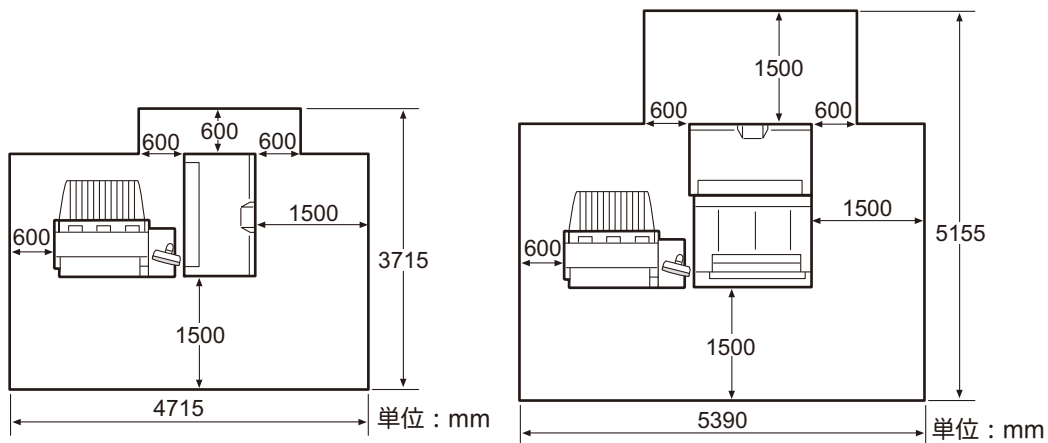
機械は、付属製品を含めた総質量 1500 kg に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。



機械には通気口があります。機械の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

機械を安全に正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。また、機器の異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。

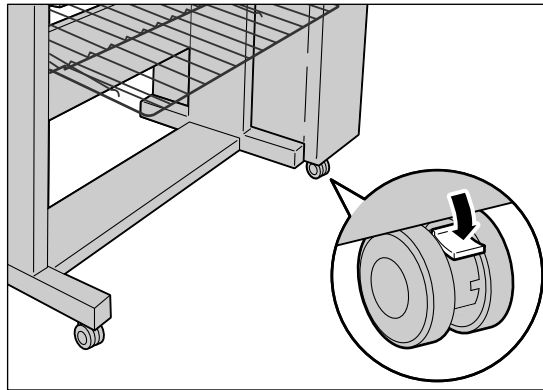
■フォルダーを接続した場合



(キャビネットとプリンターの間を 50 mm とした場合)



機械を設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。



⚠ その他



本機の使用環境は次のとおりです。

- 温度：10～32℃
- 湿度：15～85%

温度が32℃のときは湿度47.5%以下、湿度が85%のときは温度25.6℃以下でご使用ください。ただし冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械内部に水滴が付着し部分的に画像読み取りや印刷ができない場合があります。

地震のときの移動防止、転倒防止対策については、弊社のカスタマーコンタクトセンターにご相談ください。

機器使用上の注意

⚠ 警告



この説明書に明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。



この機械はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。



次のようなときにはただちに使用を中止し、機械の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、また電源スイッチおよび配電盤のスイッチを切ってください。その後、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- 機械の内部に水が入ったとき
- 機械が水をかぶったとき
- 機械の部品に損傷があったとき



カッターでロール紙をカットするときは、指など切らないようにご注意ください。



機械の隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、機械の上に置かないでください。

- 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- クリップやホチキスの針などの金属類
- 重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと機械内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。



電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。



機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。



付属のメディア（CD-ROM、DVD 等）をメディア対応機器以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。



タッチパネルディスプレイのカバーが破損した場合には、本製品の使用を中止してください。火災・感電の原因になります。



タッチパネルディスプレイの可動部への注油は行わないでください。モニター内部に入ると、故障・火災の原因になります。

⚠ 注意



機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。



液晶パネル面を固いものでたたいたりして衝撃を加えないでください。破損してけがの原因になることがあります。



タッチパネルディスプレイの台座の可動部の操作時に指をはさまないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。



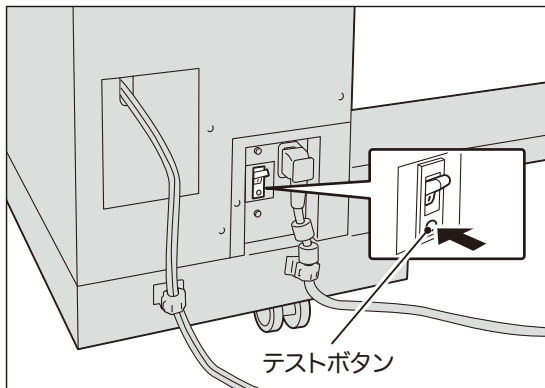
機械の安全スイッチを無効にしないでください。機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となるおそれがあります。



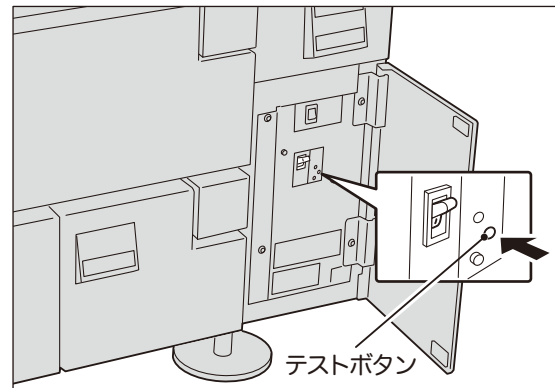
機械の本体には漏電ブレーカーが付いています。機械に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。通常は入っている状態（「I」の状態）にしておきます。1か月に一度は漏電ブレーカーが正常に働くか確認してください。異常などがある場合は弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店までご連絡ください。なお、漏電ブレーカーの確認手順は以下のとおりです。

1. スキャナーの主電源スイッチを切ります。
2. プリンターの電源スイッチを切ります。
3. 電源ブレーカーの電源を入れた状態で、テストボタンを押します。

■スキャナー



■プリンター



電源ブレーカーの電源が切れれば、正常に作動しています。



機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。



長時間機械を使用するときは、1時間ごとに10～15分の休憩をとり、目および手を休めてください。



用紙トレイおよびロール紙トレイ、定着部、紙折り部を引き出すときはゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかり、ケガをすることがあります。



ロール紙トレイは2段を同時に引き出した状態にしないでください。



詰まった用紙を取り除いたり故障処理を行うときは、機械の突起物などに触れないように注意してください。ケガをすることがあります。



機械を移動するときは、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。



換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピーすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。



タッチパネルディスプレイのカバーの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナーなどでふくと変質したり、塗料がはげる原因となります（化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従ってください）。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットが変色したり、変質するなどの原因になります。



タッチパネルディスプレイのお手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



機器の電線やケーブルを束ねるためにケーブルタイやスパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外のご使用は事故の原因となる場合があります。

⚠ その他

- 画面の位置は目の高さよりやや低く、目から40～60 cmはなれたぐらいが見やすく目の疲れが少なくなります。明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。
- 液晶パネルの表面にほこりや汚れがついているときは、柔らかい布でやさしく拭いてください。表面は傷つきやすいので硬いものでこすったり、叩いたりしないでください。また、液晶パネルは壊れやすいので強く押ししたり、強い力を加えたりしないでください。

消耗品取り扱い上の注意

⚠ 警告



消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。



こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。
本製品内およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。
掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。
床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。
大量にこぼれた場合、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。



トナーカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。



トナー回収ボトルは、絶対に火中に投げないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、弊社にて回収いたしますので、必ず弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

⚠ 注意



ドラムやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。



ドラムやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。



次の事項に従って、応急処置をしてください。

- トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
- トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。



ロール紙は重いので、持ち上げるときには腰を痛めないように十分にひざを折り、必ず両手で持ち上げてください。

落としたり倒したりすると、ケガの原因となるおそれがあります。取り扱いには十分注意してください。



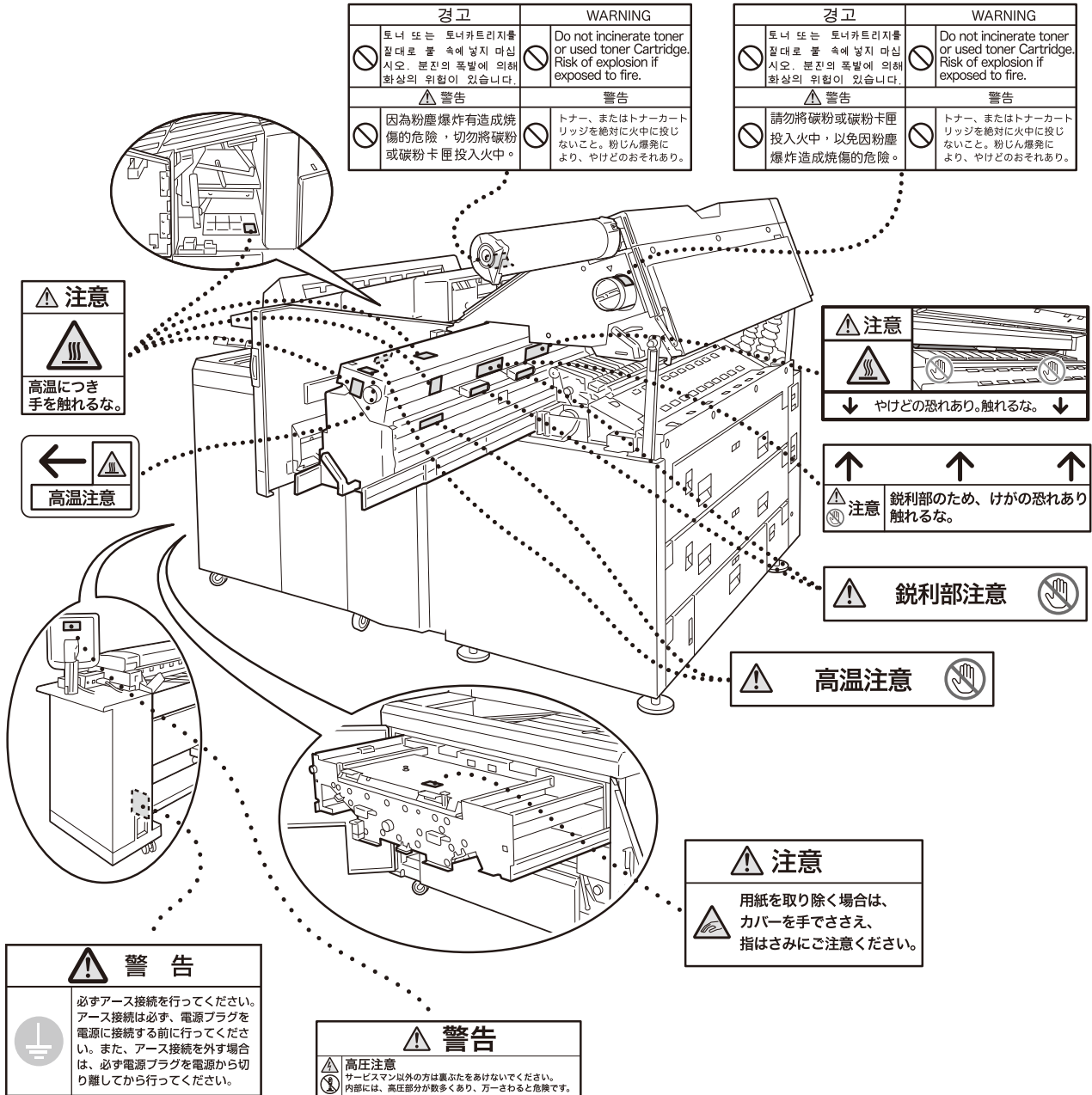
ロール紙を機械の上や不安定な場所にのせないでください。用紙が落下してケガの原因となることがあります。

警告および注意ラベルの貼り付け位置



機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。



環境について

- 回収したトナーカートリッジ、トナー回収ボトル、ドラムは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- 不要となったトナーカートリッジは適切な処理が必要です。トナーカートリッジは、無理に開けたりせず、必ず弊社または販売店にお渡しください。

サポートについて

弊社は本製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後7年間保有しています。

EMC規制について

電磁波障害対策自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

受信障害について



ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われる場合は、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。

電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
 - 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
 - この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
 - 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
 - ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。
-

高調波自主規制について

本機器は JIS C 61000-3-2 (高調波電流発生限度値) に適合しています。

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債証券、郵便為替証券、郵便切手、印紙。
これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
 - 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。
2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図画。
 - 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
 - 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
 - 役所または公務員の印影、署名、記名。
 - 私人の印影または署名。
3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、図面、地図、写真などの著作物は、法律に定める例外にあたる場合 ※ を除き、権利者の許諾なく、次の行為はできません。
 - (1) 複製 紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
 - (2) 改変 紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを削除、書き換え、切り貼りすることなど。
 - (3) 送信 電子的に読み取った著作物のデータを、インターネットその他の公衆の電気通信回線を通じて電子メールやファクシミリで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

※ 法律に定める例外にあたる場合の例

 - 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的として、複製する場合。
 - 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等が複製する場合。
 - 学校その他教育機関において教員または授業の受講者が授業で使用するために複製する場合。ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害さない範囲内に限ります。

第1章 はじめにお読みください

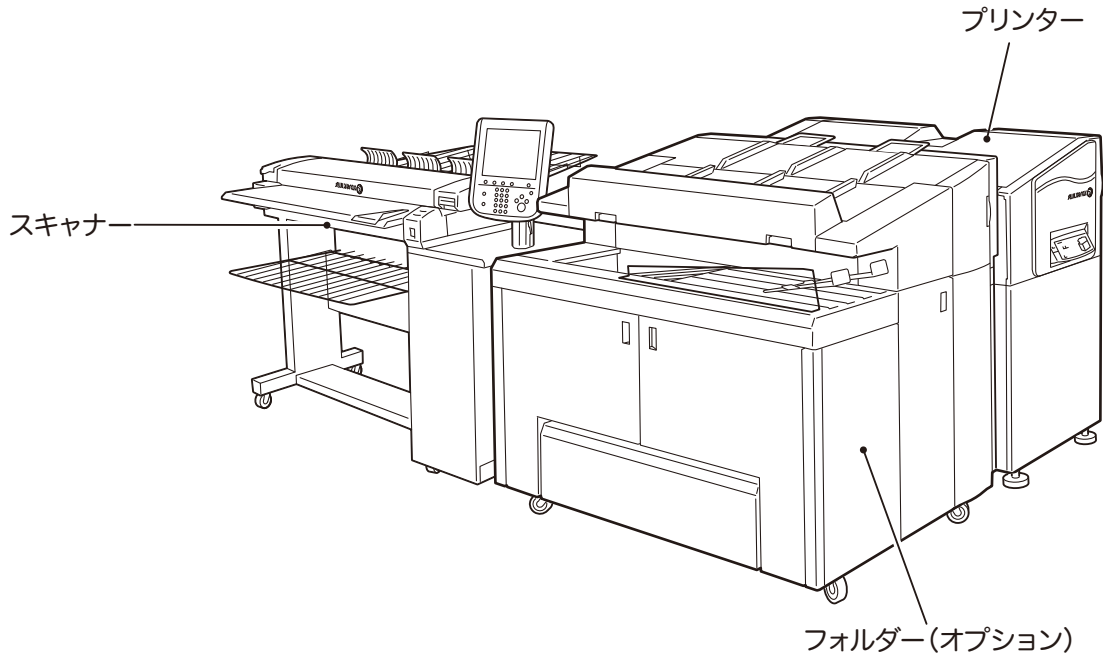
1.1	各部の名称と働き	24
1.2	電源について	29
1.3	用紙を補給/交換する	31
1.4	メーターを確認する	36
1.5	消耗品を交換する	38
1.6	本機を清掃する	45
1.7	原稿と用紙について	48

1.1 各部の名称と働き

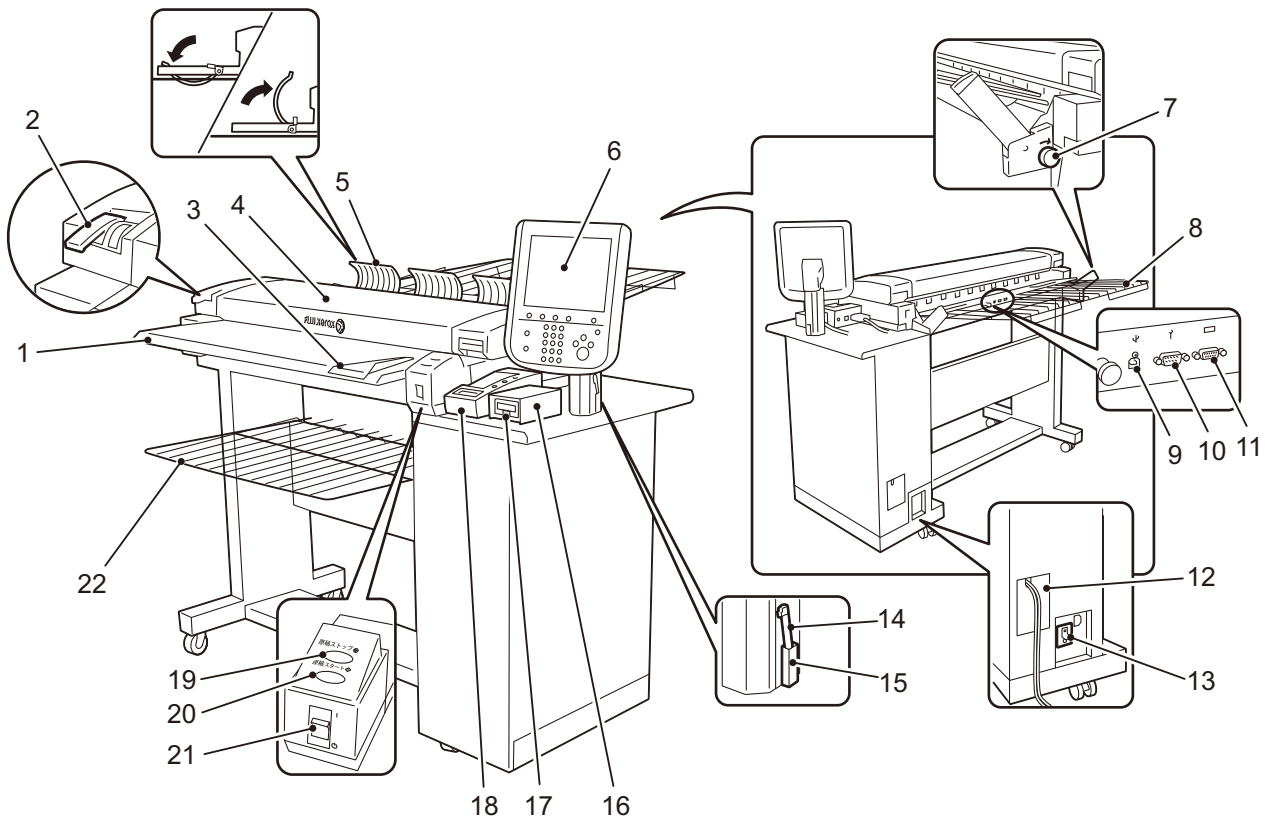
本機の、各部の名称と働きについて説明します。





1



はじめにお読みください



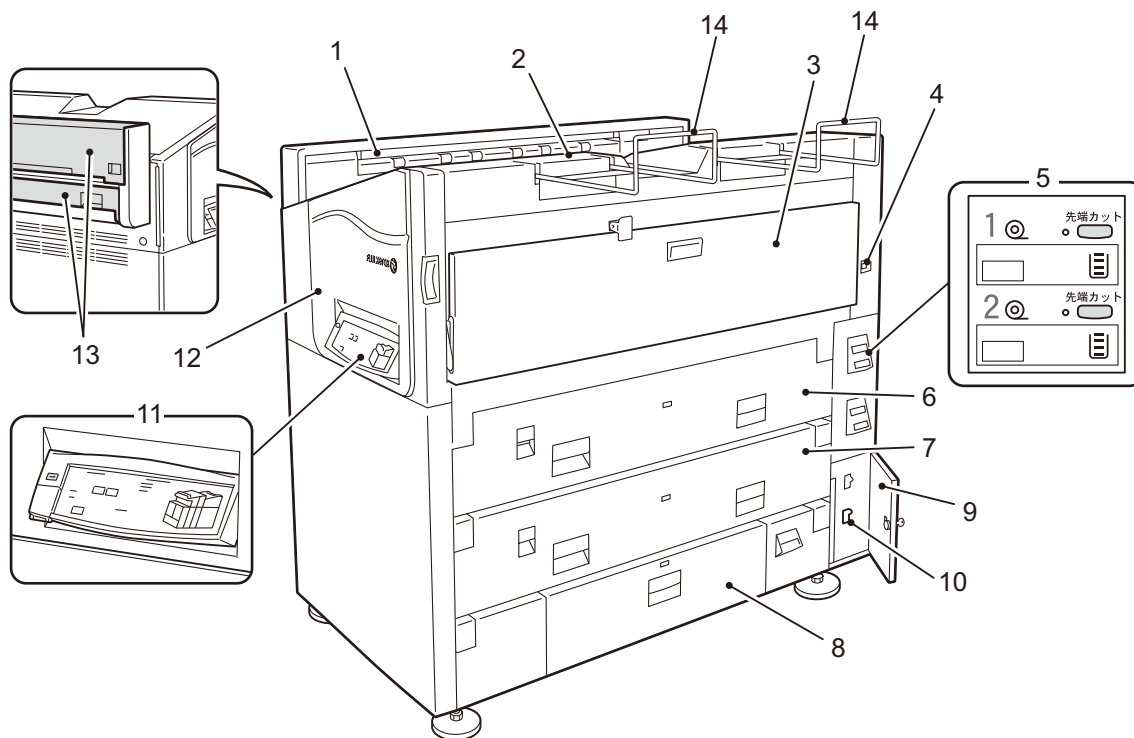
スキャナー






番号	名 称	働 き
1	原稿テーブル	原稿をセットします。
2	原稿厚調整レバー	原稿の厚さに応じて原稿カバーを7段階に調整します。
3	原稿ガイド	原稿をセットするときに原稿の右端を合わせます。
4	原稿カバー	原稿カバーの裏の反射板や原稿読み取り部のガラス面を清掃するとき、原稿づまりを処置するときなどに、右端のレバーを上げて開けます。
5	Uターンガイド	原稿を後方に排出しないで、手前に戻します。使用しないときは、押し倒してください。  補足 • 設置スペースの問題で原稿後方収容トレイを装着できない場合に、オプションのUターンガイドを取り付けて原稿を手前に戻すことができます。
6	操作パネル	タッチパネルディスプレイに表示されるボタンやタブに、直接触れて操作します。また、視認性を高めるため、左45度、右45度、上35度、下10度の範囲で角度を調整することができます。  参照 • 詳細については、『ユーザーズガイド』の「1.4 操作パネル」を参照してください。
7	ダイヤル	弊社カスタマーエンジニアが保守作業を行う際に、原稿後方収容トレイの角度を一時的に上げるために使用します。
8	原稿後方収容トレイ	本機後方に排出された原稿を平らな状態で収容するトレイです。普通紙36"サイズ以下の同一サイズ原稿を、約50枚まで収容できます。
9	USBコネクター	コンピューターを接続します。
10	メンテナンス用コネクター	弊社カスタマーエンジニアが使用します。何も接続しないでください。
11	オプションインターフェイスコネクター	オプションのScan Counter KIT（原稿枚数カウンター）を接続します。
12	インターフェイスカバー	LANケーブルが接続されます。  注記 • カバーの開閉はカスタマーエンジニアが行いますので、開けないでください。 • LANコネクターは上側のみ使用しています。
13	電源ブレーカー	スキャナーの電源ブレーカーです。
14	スタイラスペン	操作パネルのタッチパネルディスプレイに触れて、画面の指示や機能の設定をするときに使います。  補足 • スタイラスペンを使わないで、タッチパネルディスプレイに指で直接触れて操作することもできます。
15	スタイラスペンホルダー	スタイラスペンを収納します。
16	原稿枚数カウンター	リセットができる原稿枚数カウンターです（オプション）。
17	リセットボタン	原稿枚数カウンターをリセットします。
18	ICカードリーダー D	ICカードを読み取ってICカード認証します。（オプション）
19	〈原稿ストップ〉ボタン	原稿の搬送を中止します。

番号	名称	働き
20	〈原稿スタート〉ボタン	仕様設定で原稿の読み込み開始方法を [マニュアルスタート] に設定している場合、原稿の読み込みを開始するときに押します。  参照 • マニュアルスタートの設定方法については、『ユーザーズガイド』の「11.3.7 その他の設定」→「原稿読み込み開始方法」を参照してください。
21	主電源スイッチ	本機の電源を入/切します。  参照 • 詳細については、「電源について」(P.29)を参照してください。
22	原稿ストックトレイ	原稿を一時的に置くトレイです (オプション)。

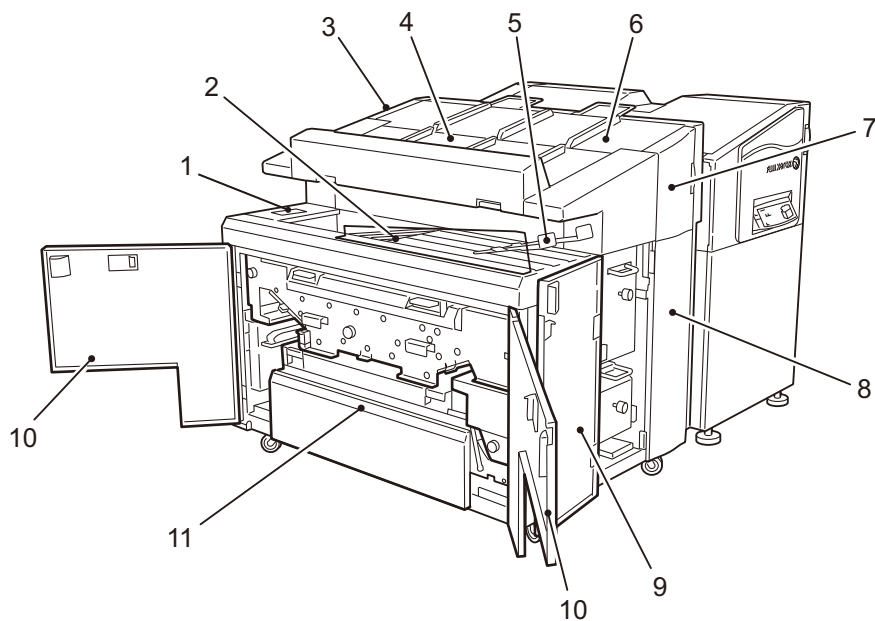
プリンター



番号	名称	働き
1	排出口	コピーやプリントされたものが印字面を下にして、ここに排出されます。
2	プリンタートレイ	排出された用紙が収容されます。
3	手差しテーブル	手差しコピー/プリントのときに使用します。手差しテーブルを開けると、右側に手差しパネルがあります。
4	電源スイッチ	プリンターの電源を入/切するスイッチです。  補足 • 通常はスキャナーの主電源スイッチに連動させますので、「入」の状態にしてください。

番号	名称	働 き
5	トレイ操作パネル	<p>ロール紙トレイ、または用紙トレイにセットされている用紙の種類や残量を表示します。また、ロール紙の先端をカットするときに使用します。用紙残量は次の4段階で表示されます。</p> 
6	ロール紙トレイ（上段）	ロール紙をセットします。
7	ロール紙トレイ（下段）	ロール紙をセットします。
8	用紙トレイ	カット紙をセットします。
9	ロードドア	電源ブレーカー、ペーパーヒーター、用紙加湿器（オプション）を操作するときに開けます。
10	電源ブレーカー	プリンターの電源ブレーカーです。
11	プリンター操作パネル	<p>紙づまりが発生したときに、処置が必要な箇所の番号が点灯します。また、用紙の先端をカットするときや、プリンター内部のトナー量を増やすときには、〈オフライン〉 ボタンを押します。</p> <p> 参照 • 紙づまりの処置箇所の詳細については、「紙づまりクイックアクセス」(P.51) を参照してください。</p>
12	フロントドア	紙づまりやトナーを交換するときに使用します。
13	レフトドア（上下）	紙づまりを処置するときに開けます。
14	用紙収容エクステンション	用紙の大きさに応じて使用する延長トレイです。（オプション）

フォルダー（オプション）



1

はじめにお読みください

番号	名称	働き
1	フォルダー操作パネル	紙折りの調整をするときに使用します。
2	スタッカー	折られた用紙が排出されます。
3	上部ドア1	紙づまりを処置するときに開けます。
4	フォルダートレイ	紙折りしない用紙が排出されます。
5	ストッパー	折られた用紙が落下するのを防止します。
6	上部カバー	紙づまりを処置するときに開けます。
7	上部ドア	紙づまりを処置するときに開けます。
8	下部ドア	紙づまりを処置するときに開けます。
9	センタードア	ファン折り部と第一折り部での紙づまりを処置するときに開けます。
10	フロントドア	第二折り部と搬送部、調整部での紙づまりを処置するときに開けます。
11	排出口（単方向折り）	単方向折りのときに、用紙が排出されます。

1.2 電源について

1.2.1 電源を入れる

電源の入れかたについて説明します。

主電源スイッチを入れてから、5分以内でコピーまたはプリントできる状態になります。

また、節電機能を利用すると、本機の消費電力量を下げ、電力を節約できます。



注記

- 主電源スイッチを入れてから画面が表示されるまで、電源を切らないでください。電源を切ると、処理中のデータが消去されることがあります。
- プリンターの電源ブレーカーを切った状態のまま主電源スイッチを入れると、タッチパネルディスプレイに「機械内部に異常が発生しました」と表示されます。その場合は、プリンターの電源ブレーカーを入れてから、再度主電源スイッチを入れてください。



補足

- 本機は主電源スイッチを切った状態でも、スキャナー（100 V 電源）は 4.5 W 以下、プリンター（200 V 電源）は 19 W 以下の電力を消費しています。この消費電力を回避（または節約）するには、スキャナーとプリンターの電源ブレーカーを「切」にしてください。操作方法については、『ユーザズガイド』の「10.12.10 本機を使用しないときの消費電力を節約したい」を参照してください。



参照

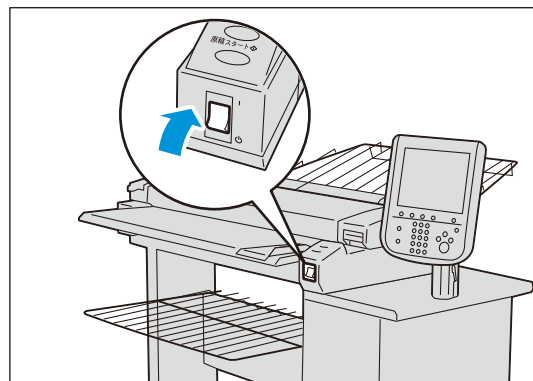
- 節電機能については、『ユーザズガイド』の「1.3 節電機能について」を参照してください。

1. スキャナーの主電源スイッチの [I] 側を押して、電源を入れます。



補足

- タッチパネルディスプレイに「お待ちください...」が表示されているときは、本機のウォームアップ中です。この間は、使用できません。



1.2.2 電源を切る

電源の切りかたについて説明します。

長時間使用しない場合や、1日の終わりには電源を切ってください。




注記

- 次の状態の場合は、電源を切らないでください。電源を切ると、処理中のデータが消去されることがあります。
 - データの受信が行われている（操作パネルの〔データ〕ランプが点滅している）
 - プリント処理が行われている
 - コピーが行われている
 - スキャンが行われている
- 用紙排出終了後、5秒たってから、電源を切ってください。
- 電源を切ったあとに、再度、電源を入れるときは、操作パネルの〔主電源〕ランプが消灯していることを確認してから、電源を入れてください。

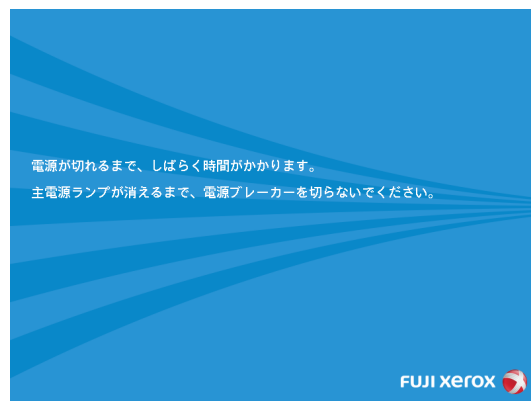
1

はじめにお読みください

1. スキャナーの主電源スイッチの〔〕側を押します。
〈節電〉ボタンが点滅します。



タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されたあと、電源が切れます。



1.3 用紙を補給/交換する



参照

- 手差しテーブルに用紙をセットする方法（手差し給紙方法）については、「手差しで給紙する（手差しコピー）」(P.77) を参照してください。

1.3.1 ロール紙を交換/カットする

ロール紙トレイにロール紙をセットします。
用紙をセットしたときは、用紙の先端をカットしてください。

⚠ 注意

ロール紙は重いので、持ち上げるときには腰を痛めないように十分にひざを折り、必ず両手で持ち上げてください。
落したり倒したりすると、ケガの原因となるおそれがあります。取り扱いには十分注意してください。



注記

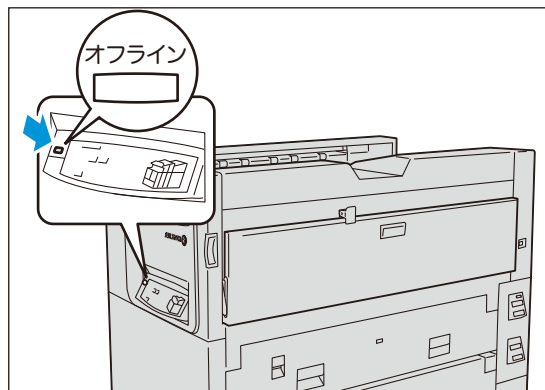
- ロール紙をセットするときは、指などはさまないように注意してください。
- ロール紙の巻き止めテープをはがすときに、ロール紙にテープののりが残らないように注意してください。のりが機械内部に入ると、印字品質が低下することがあります。

1. プリンターパネルの左側にある〈オフライン〉ボタンを押します。



補足

- プリンターモードがオフライン状態になります。

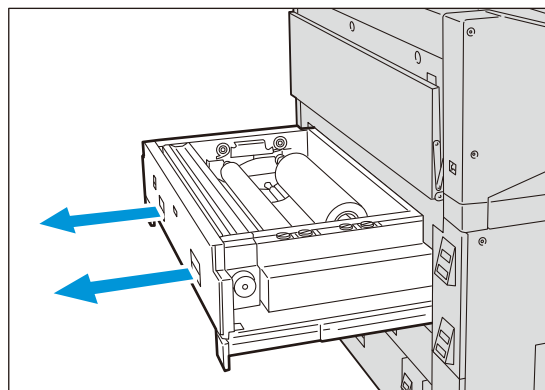


2. 両手でロール紙トレイを引き出します。

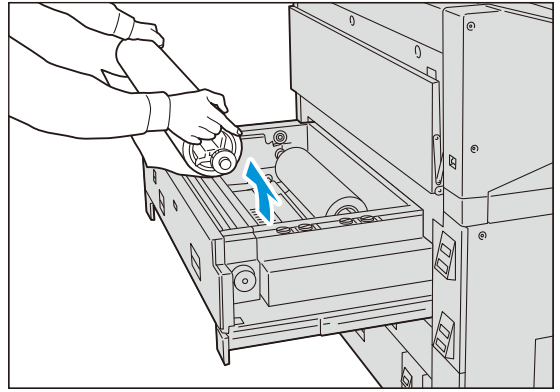


補足

- ロール紙を交換しないで用紙の先端をカットする場合は、手順10.に進んでください。

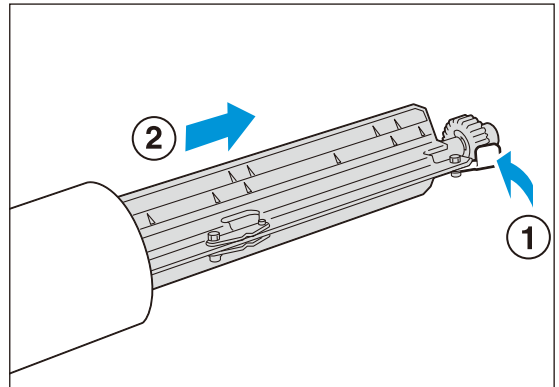


3. ロール紙のシャフトを取り外します。



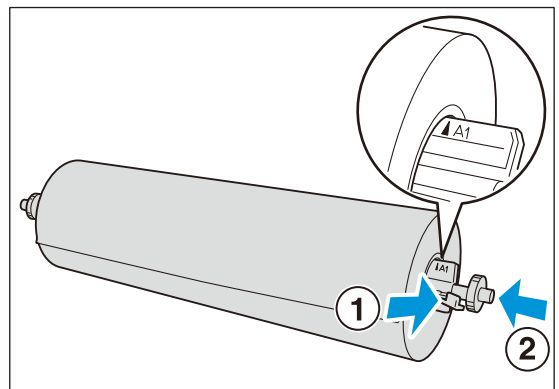
4. シャフトの端にあるロック解除レバーをつまみながら (①)、ロール紙の芯からシャフトを引き抜きます (②)。

ロック解除レバーをつまむと、ロール紙のロックが外れてシャフトを抜くことができます。

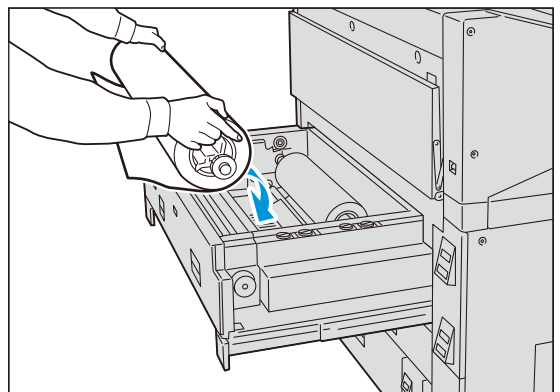


5. シャフトの端にあるロック解除レバーをつまみながら (①)、シャフトの用紙サイズ表示に合わせて新しいロール紙をセットします (②)。

- 注記**
- ロール紙をシャフトにセットするときは、ロール紙が落下、転倒しないように、床などの安定した場所に寝かせてセットしてください。



6. ロール紙の巻き方向に注意して、シャフトをトレイに載せます。

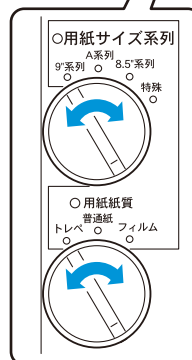
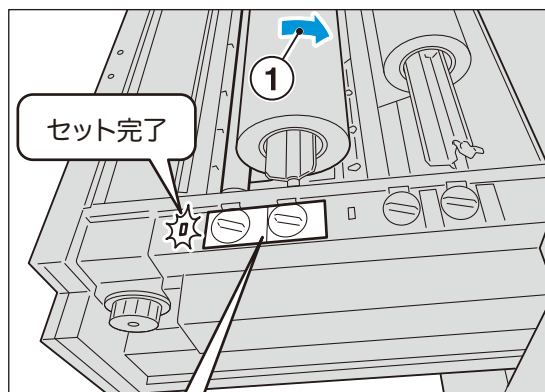


7. ロール紙を回して (①)、ロール紙の先端をローラーの下に挿入します。

正しくセットされると、「ピッ」という音がして、右側の [セット完了] ランプが緑色に点灯します。「ピーピー」と鳴ったら、用紙を少し巻き戻してください。

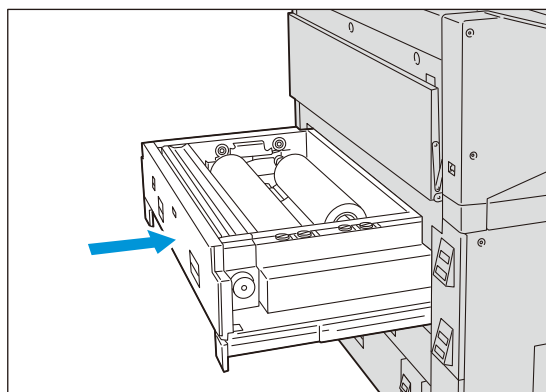
- 注記**
- 用紙の先端などが傷んでいて、ロール紙がうまく引き込まれない場合は、用紙の先端をカットしてから、セットしてください。

8. 該当する用紙サイズ系列と、用紙紙質の位置につまみを合わせます。



9. ロール紙トレイを静かに押し込みます。

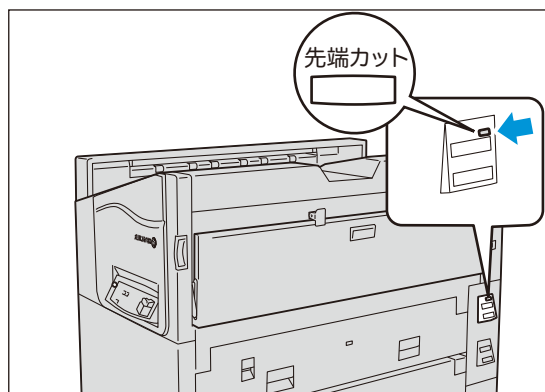
- 補足**
- いちばん奥まで確実に押し込んでください。
 - セットした用紙サイズ系列と用紙紙質が表示されることを確認してください。



10. 交換したロールに該当する〈先端カット〉ボタンを押します。

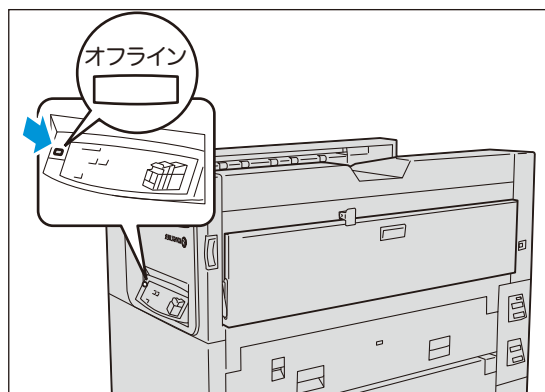
用紙の先端がカットされます。

- 補足**
- 〈先端カット〉ボタンを押すと、用紙が 210 mm の長さでカットされます。
 - 〈先端カット〉ボタンは、3回まで続けて押すことができます。3回続けて押すと、用紙の先端が3回カットされます。



11. カットされた用紙を取り除きます。

12. 再度、〈オフライン〉ボタンを押します。



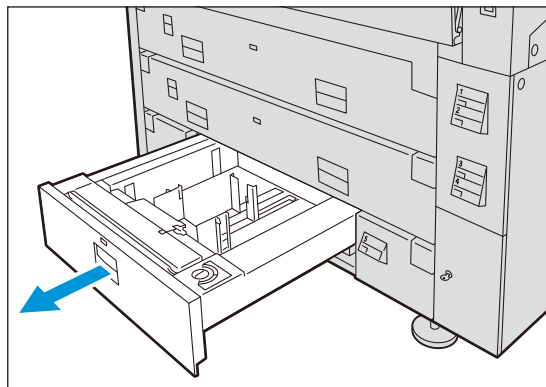
1

はじめにお読みください

1.3.2 カット紙を補給/交換する

用紙トレイにカット紙をセットできます。A4、A3サイズの内紙をセットできます。
フィルム、OHP用フィルムは使用できません。

1. 用紙トレイを引き出します。



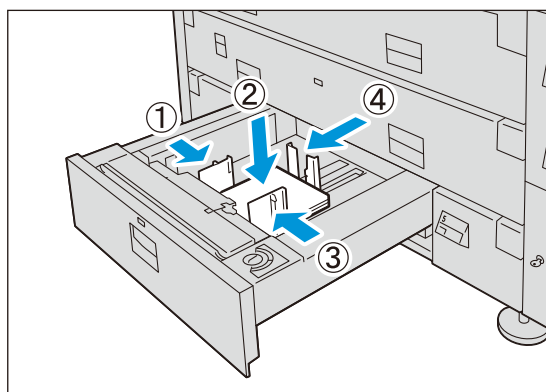
2. 用紙をセットします。

- ① 左側ガイドを用紙サイズに合わせます。
- ② 用紙を手前の壁と左側ガイドに沿って、セットします。
- ③ 右側ガイドを用紙に合わせます。
- ④ 奥側ガイドを用紙に合わせます。

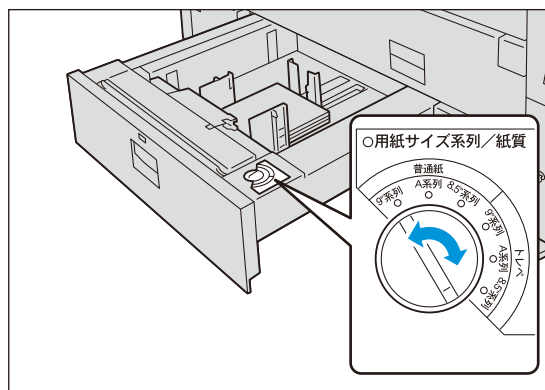


補足

- ガイドがきついと紙送り不良の原因になります。



3. 該当する紙質とサイズ系列の位置に、つまみを合わせます。

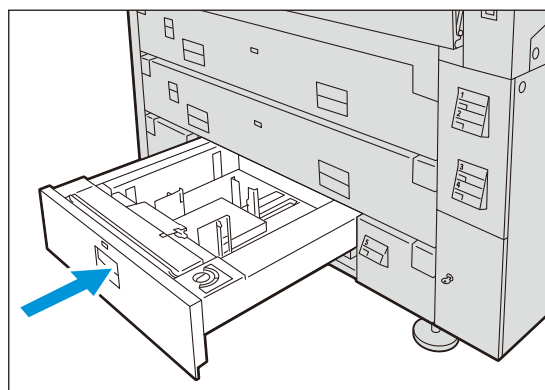


4. トレイを静かに押し込みます。



補足

- セットした用紙サイズ系列と用紙紙質が表示されることを確認してください。



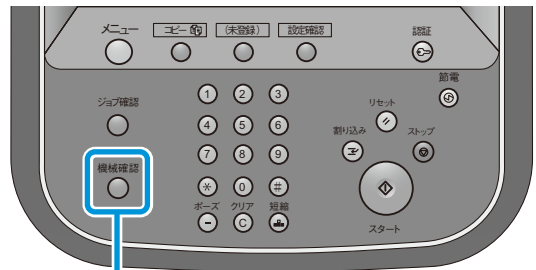
1

はじめにお読みください

1.4 メーターを確認する

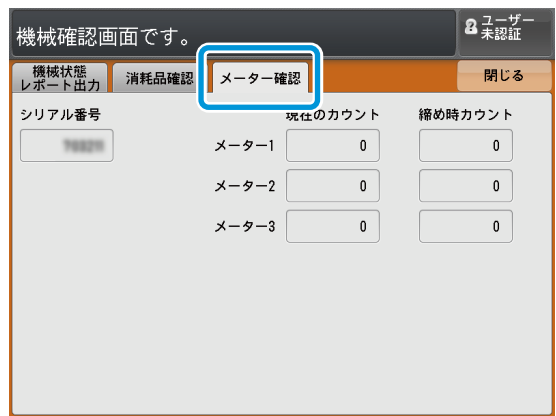
[メーター確認] 画面では、メーター別にプリントのカウンタ数を確認できます。

1. 〈機械確認〉ボタンを押します。



〈機械確認〉ボタン

2. [メーター確認] タブを押します。
3. 表示された画面で、各メーターを確認します。



補足 • [締め時カウンタ] は、EPシステムが接続されている機械にだけ表示されます。

シリアル番号

本機のシリアル番号が表示されます。

メーター 1

黒単色コピー/プリントの総カウンタ数が表示されます。

補足 • カウンタ数は、用紙サイズによって異なります。各用紙サイズは、次のカウンタ数で加算されます。

用紙サイズ	カウンタ
A0、特A0、36x48"、34x44"、30x42"	5
A1、特A1、24x36"、22x34"	3
A2、特A2、18x24"、17x22"	2
A3、A4、12x18"、11x17"、9x12"、8.5x11"	1

• 黒単色コピー/プリントに赤色のスタンプを押した場合は、メーター 1 とメーター 3 がカウンタされます。

メーター 2

赤単色と赤黒コピー/プリントの総カウンタ数が表示されます。

補足 • 赤単色または赤黒コピー/プリントに赤色のスタンプを押した場合は、メーター 2 とメーター 3 がカウンタされます。

メーター 3

スタンプとバナーシートの総カウント数が表示されます。




補足

- スタンプは、色、大きさ、数に関係なく、スタンプが押された枚数をカウントします。1枚に複数のスタンプが押されても、スタンプが押された枚数をカウントします。
- バナーシートは、サイズに関係なく、枚数をカウントします。
- スタンプ機能がない場合は、バナーシートの総カウント数が表示されます。

1.5 消耗品を交換する

本機には、次のような消耗品が用意されています。本機に適した規格で作られていますので、次の消耗品の使用をお勧めします。

消耗品の種類	商品コード	形態
トナーカートリッジ (黒)	M200	1個/1箱
トナーカートリッジ (赤)	M201	1個/1箱

 **注記** • 弊社が推奨していないトナーカートリッジを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するトナーカートリッジをお使いください。

 **補足** • 消耗品は、予備を用意することをお勧めします。

消耗品の取り扱いについて

- 消耗品の箱は、必ず横置きにして、箱に記載された状態で保管してください。
- 消耗品は、使用するまでは開封しないで、次のような場所を避けて保管してください。
 - 高温多湿の場所
 - 火気がある場所
 - 直射日光が当たる場所
 - ほこりが多い場所
- 消耗品を使用するときは、消耗品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから、使用してください。
- 消耗品を発注するときは、商品コードを確認のうえ、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご注文ください。
- 使用済みのトナーカートリッジは、適切な処置が必要です。必ず弊社または販売店にお渡しください。

⚠ 警告

- こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。
本製品内およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。
掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。
床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。
大量にこぼれた場合、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
- トナーカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
- トナー回収ボトルは、絶対に火中に投げないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、弊社にて回収いたしますので、必ず弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

- ドラムやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- ドラムやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
- 次の事項に従って、応急処置をしてください。
 - トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
 - トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
 - トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。



注記

- トナーを補給するとき、トナーがこぼれて床面などを汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。

使用済み消耗品の回収

回収したトナーカートリッジ、トナー回収ボトル、ドラムは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。


不要となったトナーカートリッジは適切な処理が必要です。トナーカートリッジは、無理に開けたりせず、必ず弊社または販売店にお渡しください。

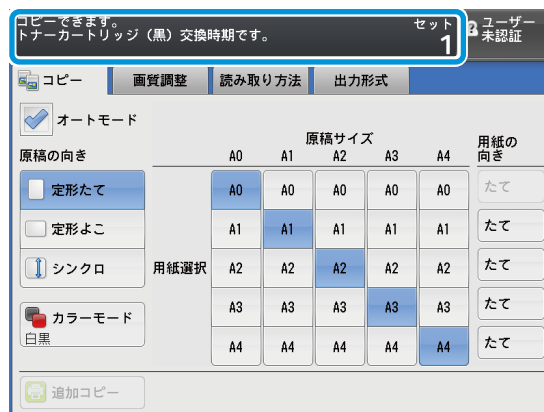
1.5.1 黒トナーを補給する

トナーが少なくなると、次のようなメッセージがタッチパネルディスプレイに表示されます。メッセージに従って、処置してください。

- トナーカートリッジ（黒）交換時期です。

トナーカートリッジ（黒）を交換してください。


-  **補足**
- このメッセージが表示されてから、コピー / プリントできる残りページ数は100ページです。



- トナーカートリッジ（黒）を交換してください。

トナーカートリッジ（黒）を交換してください。

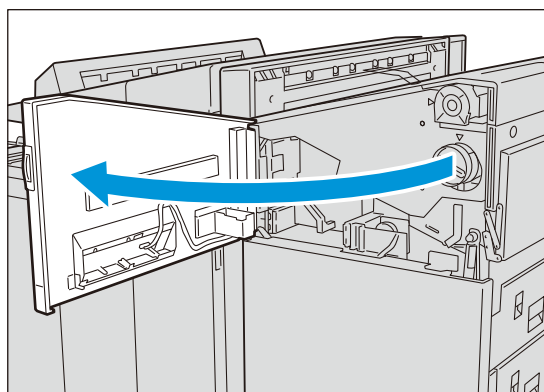
このメッセージが表示されると、コピー / プリントできません。


-  **注記**
- トナー残量が少なくなってきた場合は、プリント中に機械が停止してメッセージが表示されることがあります。その場合は、トナーを補給すると、コピー / プリントは継続されます。




新しいトナーカートリッジ（黒）を用意してから、次の手順で交換します。

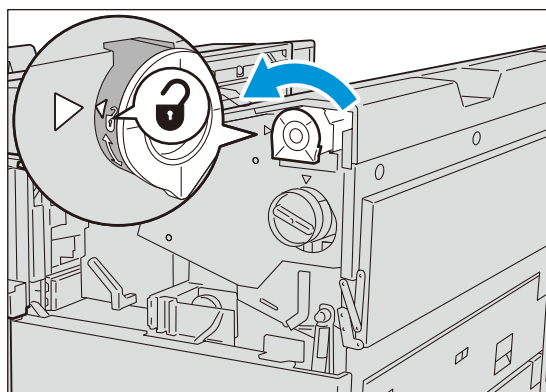
1. 機械が停止していることを確認し、プリンターのフロントドアを開けます。




2. トナーカートリッジ（黒）を、印の位置まで回します。

トナーカートリッジ（黒）のロックが外れます。

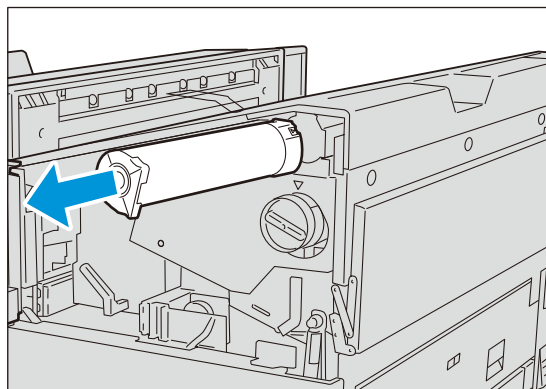
 **補足** • 力を入れて回してください。



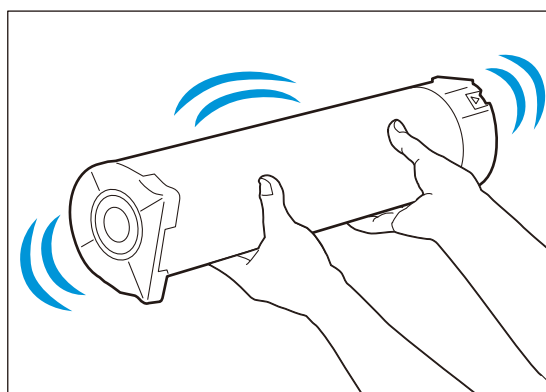
3. トナーカートリッジ（黒）を手前に引き出します。

 **注記**

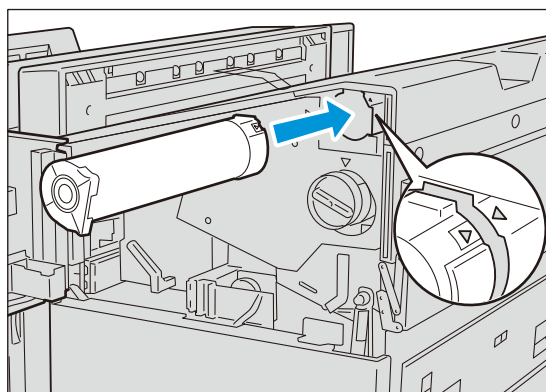
- 使用後のトナーカートリッジの補給口付近には、トナーが付着していることがあります。手や衣服にトナーが付かないように注意してください。
- 使用済みのトナーカートリッジは、弊社または販売店にお渡しください。




4. トナーを均一にするために、新しいトナーカートリッジ（黒）をよく振ります。

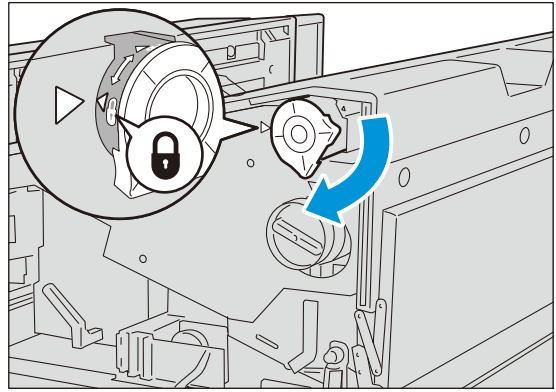


5. トナーカートリッジ（黒）側の印と本機側の印を合わせて、つきあたるまで差し込みます。

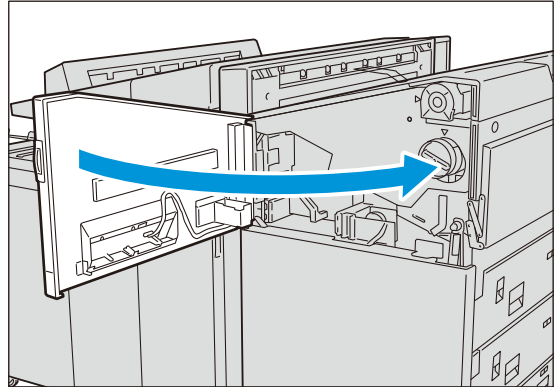


6. トナーカートリッジ（黒）を、印の位置まで回します。

トナーカートリッジ（黒）がロックされます。



7. プリンターのフロントドアを閉じます。



1.5.2 赤トナーを補給する

トナーが少なくなると、次のようなメッセージがタッチパネルディスプレイに表示されます。メッセージに従って、処置してください。

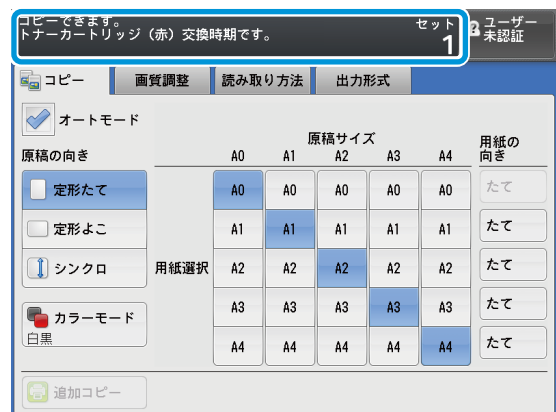
- トナーカートリッジ（赤）交換時期です。

トナーカートリッジ（赤）を交換してください。



補足

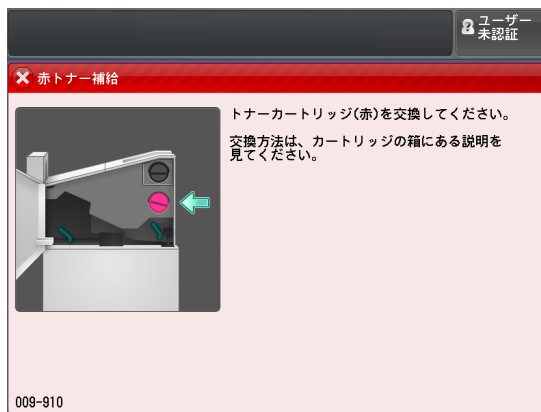
- このメッセージが表示されてから、コピー / プリントできる残りページ数は100ページです。



- トナーカートリッジ（赤）を交換してください。

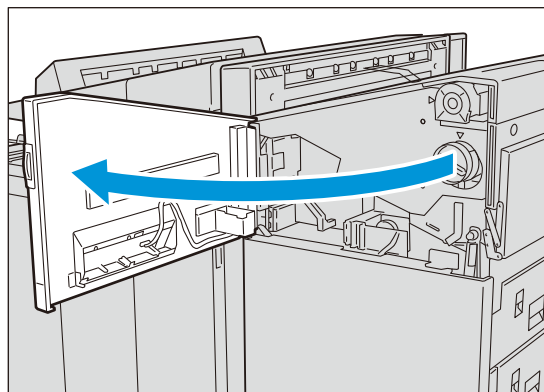
トナーカートリッジ（赤）を交換してください。
このメッセージが表示されると、コピー / プリントできません。

- 注記**
- トナー残量が少なくなってきた場合は、プリント中に機械が停止してメッセージが表示されることがあります。その場合は、トナーを補給すると、コピー / プリントは継続されます。



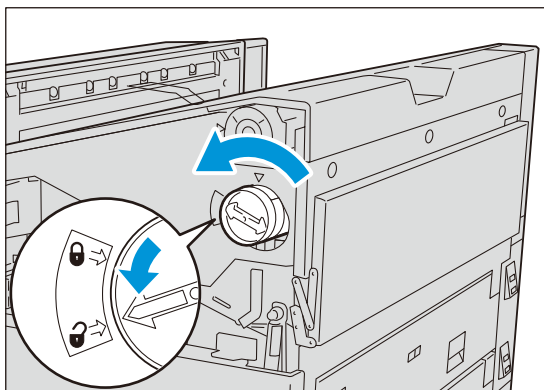
新しいトナーカートリッジ（赤）を用意してから、次の手順で交換します。

1. 機械が停止していることを確認し、プリンターのフロントドアを開けます。



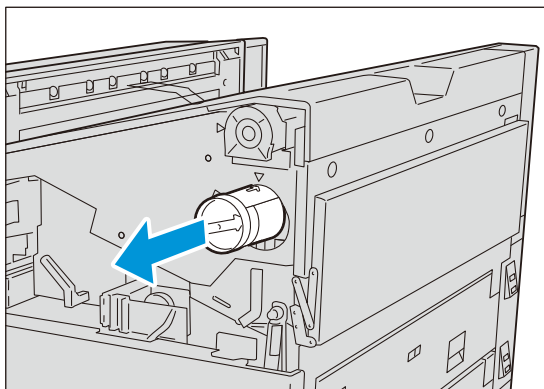
2. トナーカートリッジ（赤）を、🔒印の位置まで回します。
トナーカートリッジ（赤）のロックが外れます。

- 補足**
- 力を入れて回してください。



3. トナーカートリッジ（赤）を手前に引き出します。

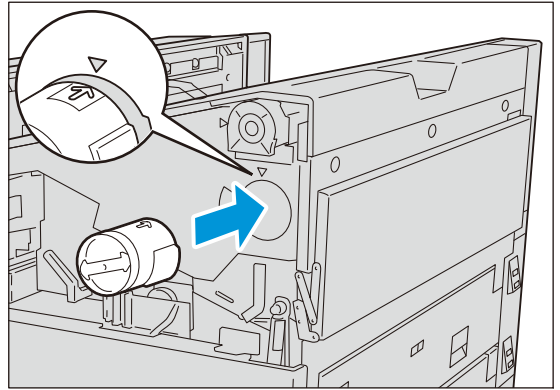
- 注記**
- 使用後のトナーカートリッジの補給口付近には、トナーが付着していることがあります。手や衣服にトナーが付かないように注意してください。
 - 使用済みのトナーカートリッジは、弊社または販売店にお渡しください。




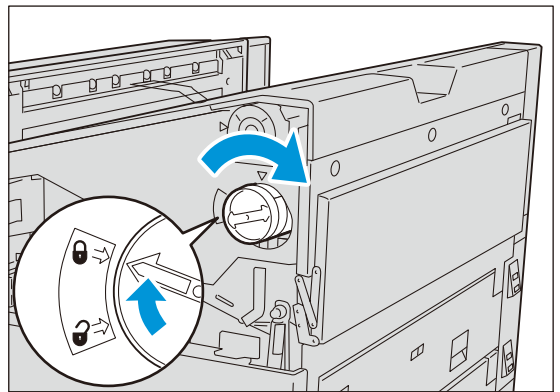
4. トナーを均一にするために、新しいトナーカートリッジ (赤) をよく振ります。



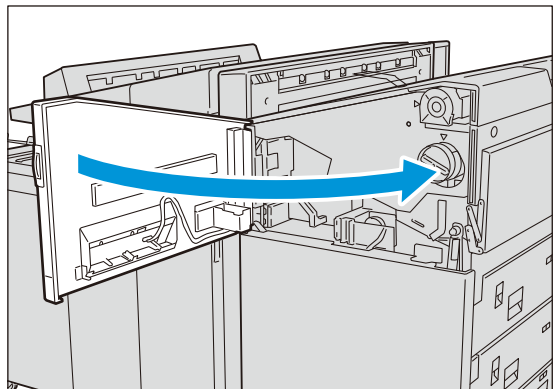
5. トナーカートリッジ (赤) の矢印を上にして、つきあたるまで差し込みます。



6. トナーカートリッジ (赤) を、印の位置まで回します。
トナーカートリッジ (赤) がロックされます。



7. プリンターのフロントドアを閉じます。



1.6 本機を清掃する

ここでは、スキャナーの清掃について説明します。

原稿カバーの裏の反射板や、原稿読み取り部のガラス面が汚れていると、コピーの全体に黒い線や帯などが発生する原因になります。

⚠ 警告

機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

⚠ 注意

- 機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。
- 機械の清掃を行う場合は、機械の電源スイッチおよび配電盤のスイッチを切ってください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

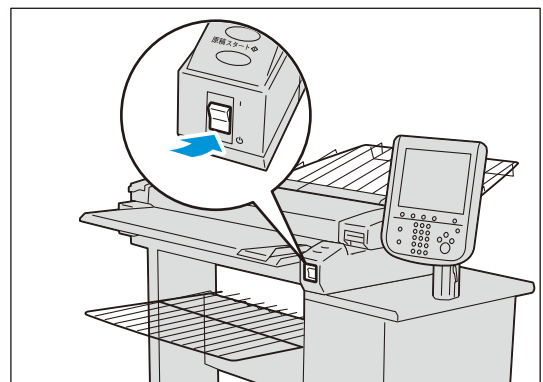
! 注記

- ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
- 汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に水、または薄めの中性洗剤を少量含ませ、固く絞って軽くふきます。そのあと、乾いた布でふきます。
- 水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。
- 水でぬらしすぎると、機械が故障したりコピーするときに原稿が破れたりするおそれがあるので注意してください。

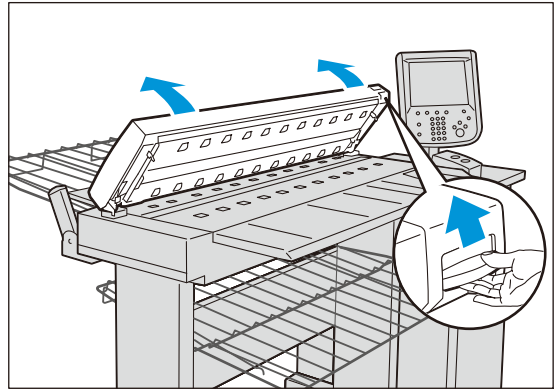
1. スキャナーの主電源スイッチの [⏻] 側を押して、電源を切ります。

! 注記

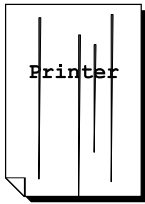
- 本機の電源を切らないで機械を清掃すると、感電の原因になるおそれがあります。



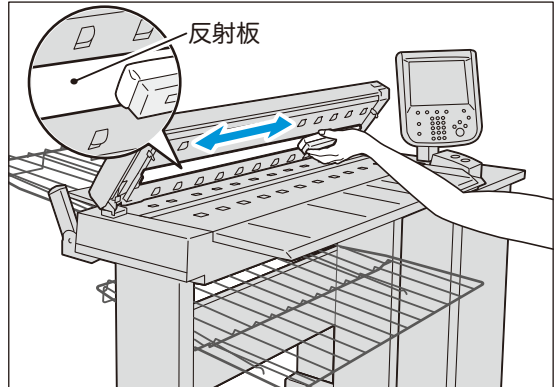
2. 原稿カバーの右端のレバーを上げて、原稿カバーを持ち上げます。



3. 本機に同梱のスクャナー清掃キットを使って、原稿カバーの裏の白い反射板をふきます。



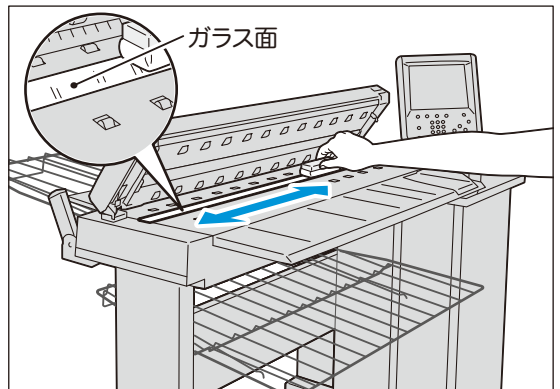
筋が発生したときは反射板をふきます。



4. 原稿読み取り部のガラス面をふきます。

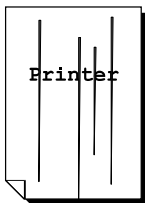


黒点が発生したときはガラス面をふきます。

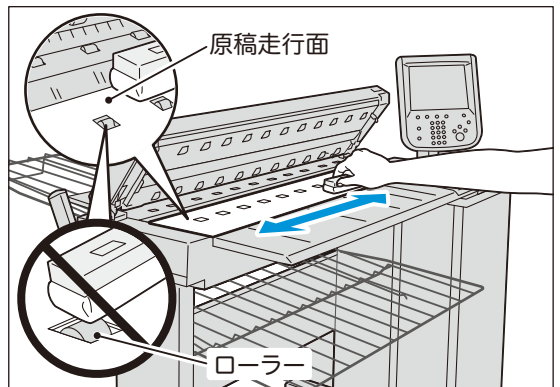


- 注記** • ガラス面を強く押しすぎると、故障やケガの原因になります。

5. 原稿走行面をふきます。

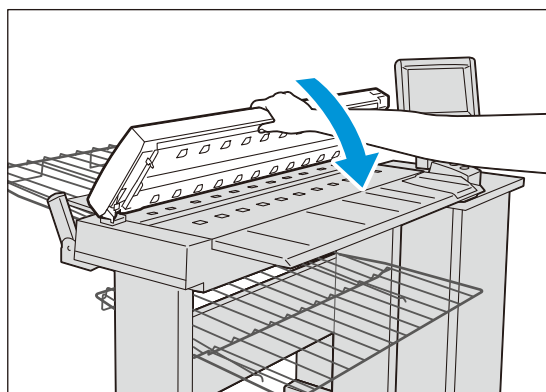


筋が発生したとき、原稿が詰まるときは、原稿走行面をふきます。



- 注記** • ローラーはふかないでください。ローラーをふくと、油分が付着して原稿走行スリップの原因になります。

6. 原稿カバーを元に戻します。



1

はじめにお読みください

1.7 原稿と用紙について

1.7.1 原稿について

使用できる原稿

次の原稿を使用できます。

原稿サイズ	厚さ
原稿の幅: 176~914.4 mm (最大受け入れ幅945 mm) 原稿の長さ: 210~15,000 mm	0.05~0.2 mm (後方排出時最大受け入れ厚さ12.7 mm*)

* 厚さが0.2 mmを超え、12.7 mmまでの平面な堅い原稿（スチレンボード、厚紙）を読み込みできます。ただし、原稿を手で支える必要があります。また、原稿を正確に読み込みできることを保証するものではありません。

原稿取り扱い上の注意事項

原稿を取り扱うときは、次のことに注意してください。

- のりや接着テープで貼り合わせた原稿、修正液を使った原稿を使うと、原稿の読み取り部に汚れが付くことがあります。特にスティック状ののりやスプレーのりを使用するときは、注意してください。原稿の読み取り部が汚れていると、コピーに黒線が出ることがあります。
- 折りめ、しわ、破れめ、穴あきのない原稿を使用してください。原稿づまり、原稿破れなどの原因になります。
- 丸めてある原稿の場合は、直径40 mm以上のものを使用してください。40 mm未満のときは、先端を平らに伸ばしてください。
- 厚みのある原稿は、手で支えて読み込ませてください。

1.7.2 用紙について

本機で使用できる用紙について説明します。

適正でない用紙を使用した場合は、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因になることがあります。本機の性能を効果的に活用するために、弊社推奨の用紙をご利用いただくことをお勧めします。なお、推奨の用紙以外を使用するときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

⚠ 警告

電気を通しやすい紙（折り紙/カーボン紙/導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。



注記

- 水、雨、蒸気などの水分により、印刷面の画像がはがれることがあります。詳しくは弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

用紙の種類

一般に使用されている用紙（一般紙と呼びます）にコピーやプリントをする場合は、規格に合った用紙を使用してください。より鮮明にコピーやプリントをするためには、弊社推奨紙の使用をお勧めします。

種類	紙質 / 質量	セットできる用紙サイズ	推奨紙		
			用紙名	質量 / 厚さ	サイズ
ロール紙	普通紙 トレーシングペーパー フィルム 52.3～81.4 g/m ²	A0、A1、A2、A3幅 880 mm幅 620 (625) mm幅 435 (440) mm幅 34"、22"、17"、11" 36"、24"、18"、12" 外径180 mm以下	E紙	64 g/m ²	A0～A3
			GX75	74 g/m ²	
			PF90フィルム	75 μm	
カット紙	普通紙 トレーシングペーパー 52.3～81.4 g/m ²	A3、A4 12"、11"、9"、8.5"	P紙	65 g/m ²	A3/A4
			GX75*1	74 g/m ²	
手差し	普通紙 トレーシングペーパー フィルム 52.3～81.4 g/m ²	A0、A1、A2、A3、A4幅 880 mm幅 620 (625) mm幅 435 (440) mm幅	P紙	65 g/m ²	A3/A4
			GX75*1	75 g/m ²	A3/A4
			PF90フィルム	75 μm	A1～A4

*1 A3はたて目のみ可



注記

- プリンタードライバーで選択した用紙サイズや用紙種類と異なる用紙でプリントしたり、適応していない用紙をトレイにセットしてプリントしたりすると、紙づまりの原因になります。適正なプリントをするために、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選択してください。

用紙の取り扱いと保管

● 用紙の取り扱い

折りめ、しわのある用紙やカールした用紙は、使用しないでください。紙づまりの原因になります。

● 用紙の保管

用紙を保管するときの環境は、湿度40～45%が理想です。次のことに注意して保管してください。

- 用紙は湿気を嫌います。保管するときは防湿の留意がしてある弊社用紙の包装紙に包み、湿気が少ない場所に保管してください。特にトレーシングペーパーは、ビニール袋や防湿加工袋などに入れ、除湿剤を入れることをお勧めします。
- 機械を長時間お使いにならないときは、用紙を機械から出して保管してください。

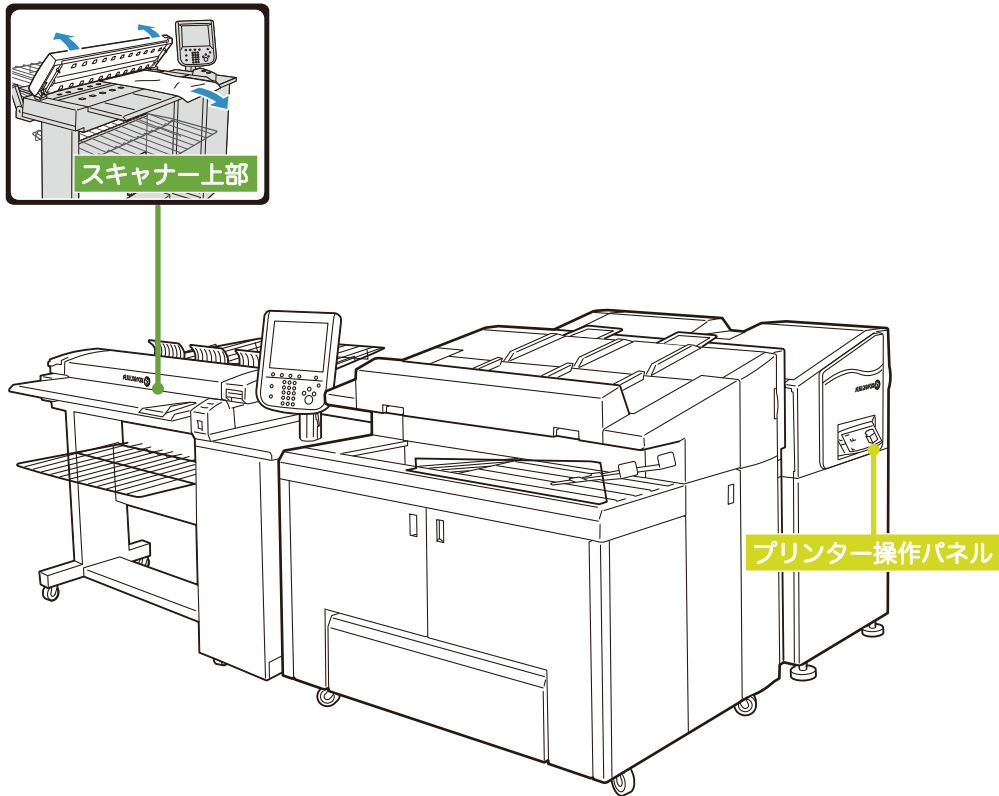
第2章 紙づまりクイックアクセス

2.1	スキャナーの処置箇所.....	52
2.2	プリンターの処置箇所.....	53
2.3	フォルダーの処置箇所.....	54

2.1 スキャナーの処置箇所

2

紙づまりクイックアクセス

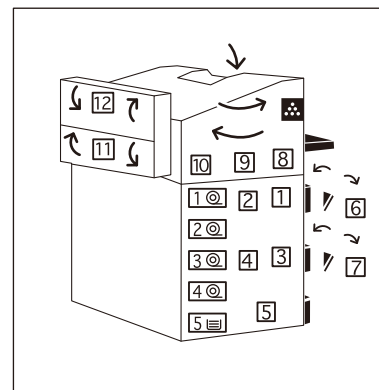
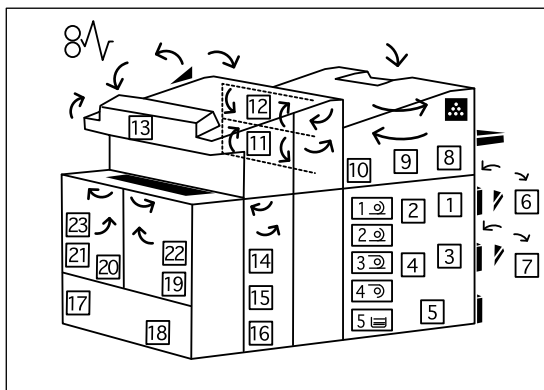


プリンター操作パネルが点灯した場合

● プリンター操作パネル

● フォルダー（オプション）が接続されている場合

● プリンターだけの場合



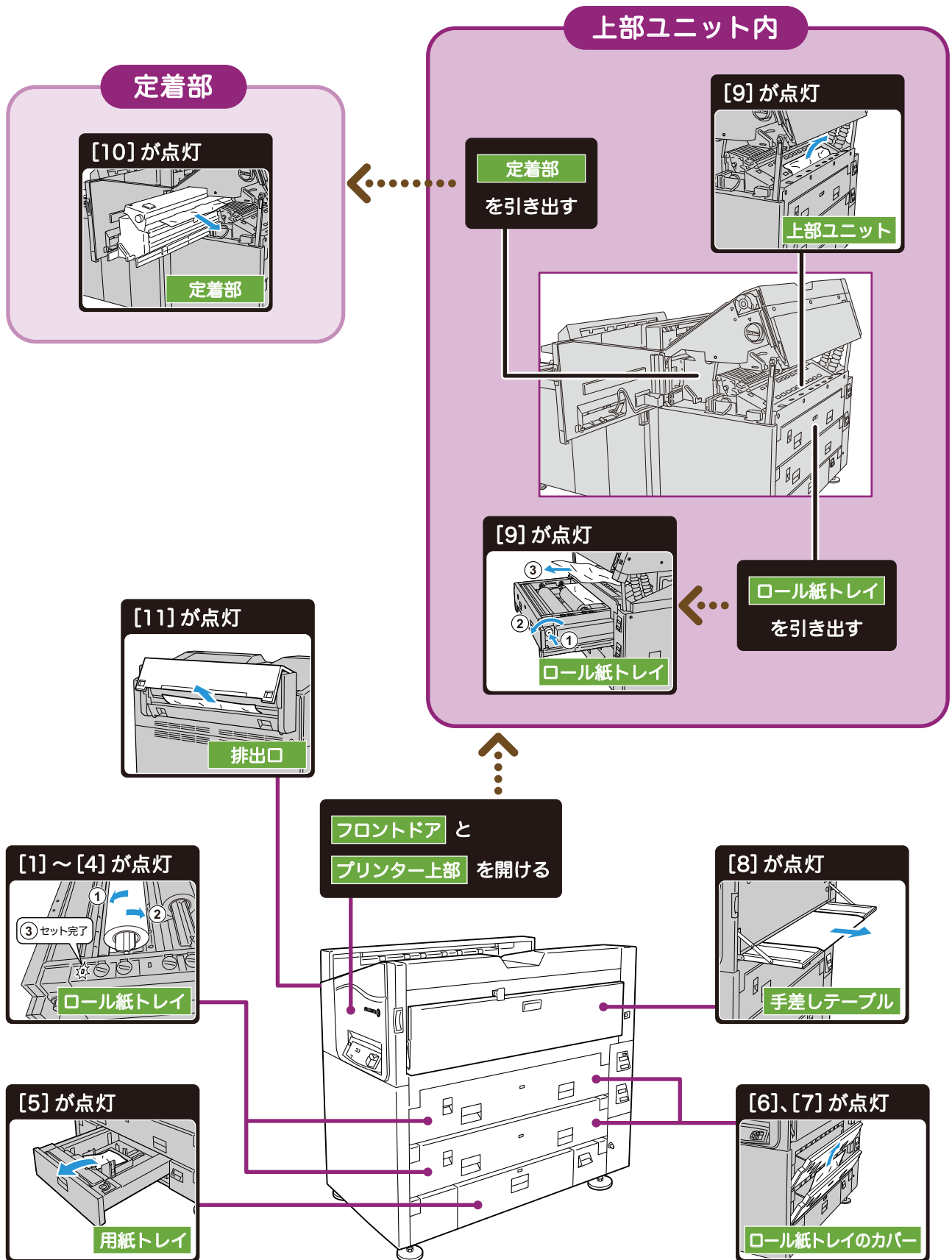
各番号が点灯したときの処置箇所は、次ページ以降を参照してください。



補足

- フォルダー（オプション）が接続されている場合は、[1] ~ [23] が点灯します。
プリンターだけの場合は、[1] ~ [11] が点灯します。

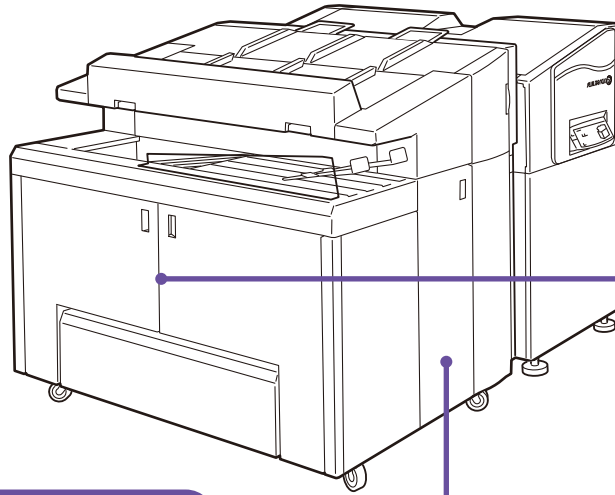
2.2 プリンターの処置箇所



2.3 フォルダーの処置箇所

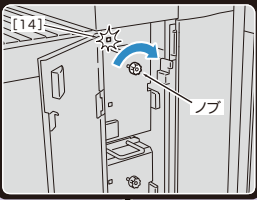
2

紙づまりクイックアクセス

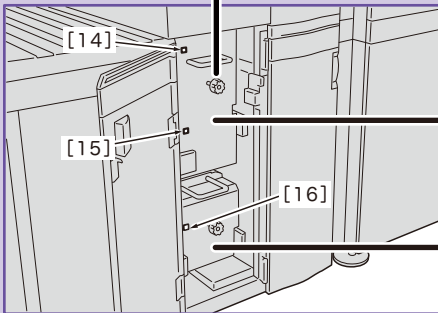
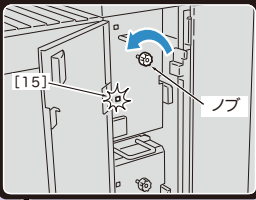


センタードア内

[14] が点灯
ランプ [14] が点灯



[15] が点灯
ランプ [15] が点灯



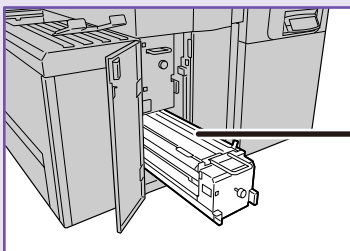
ファン折り部

を引き出す

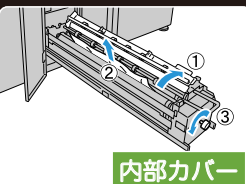
第一折り部

を引き出す

第一折り部

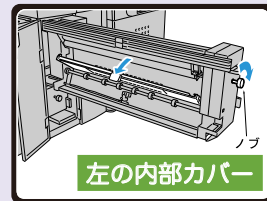


[16] が点灯
ランプ [16] が消灯

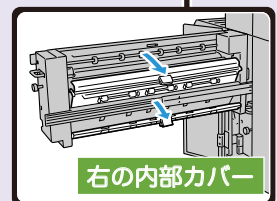
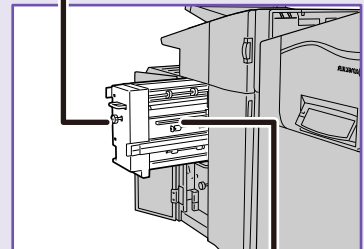


内部カバー

ファン折り部



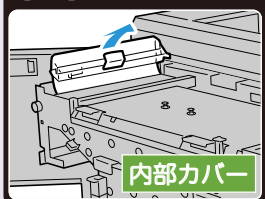
左の内部カバー



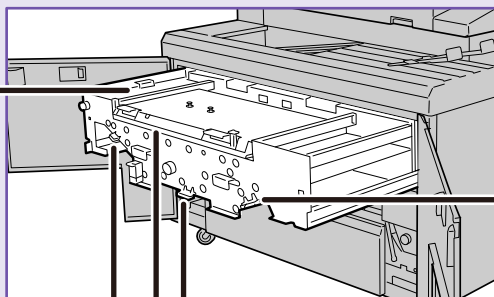
右の内部カバー

調整部

[23] が点灯



内部カバー



[19] が点灯



19 番の内部カバー

[21] が点灯



21 番の内部カバー

[22] が点灯



22 番の内部カバー

[20] が点灯



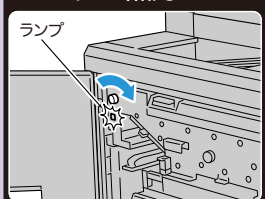
20 番の内部カバー

フロントドア内

調整部

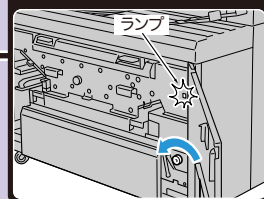
を引き出す

[23] が点灯
ランプが点灯



ランプ

[18] が点灯
ランプが点灯



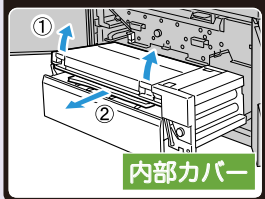
ランプ

搬送部

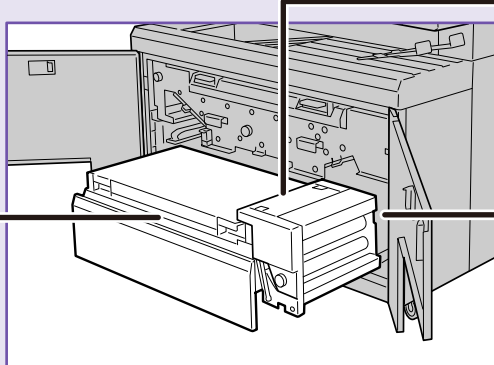


搬送部

[17] が点灯



内部カバー



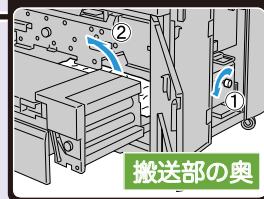
[18] が点灯
ランプが消灯



ランプ

18 番の内部カバー

[16] が点灯
ランプ [16] が点灯

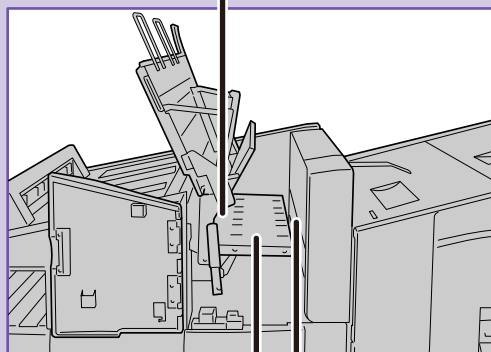


搬送部の奥

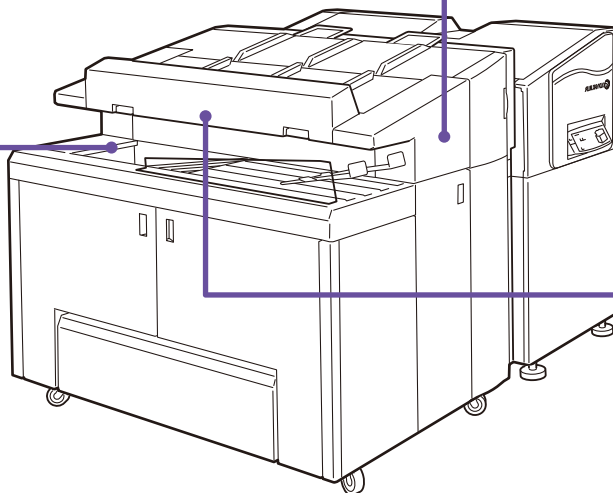
プリンターのレフトドア内



プリンターとフォルダーの接続部



内部カバー と
プリンターのレフトドア(上下) を開ける



第3章 注意/制限事項について

3.1	注意/制限事項について	58
-----	-------------------	----

3.1 注意/制限事項について

ここでは、本機を使用するうえでの注意、および制限について説明します。

3.1.1 本機使用上の注意/制限

本機の設置/移動について

- 本機を移動する場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。
- 本機が作動しているとき、本機に衝撃を与えないでください。
- 本機外部にあるファンの吸排出口の近くには物を置かないでください。

機械操作上の注意点

- 電源を入れた直後に切らないでください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。
- 画像不良の原因になるため、プリンターの上部ユニットを10分以上、開放したままにしないでください。

電源を切るときの注意点

- 主電源スイッチを入れてから画面が表示されるまで、電源を切らないでください。
- 操作パネルで操作できなくなったり、エラー画面を閉じられなくなった場合は、主電源スイッチを切ってください。
- 電源を切ったあと、再度電源を入れる場合は、操作パネルの主電源ランプが消灯しているか確認してから電源を入れてください。

3.1.2 コピー機能での注意/制限

オートモードの用紙選択の制限

オートモードの用紙サイズは、原稿の向きによって、次のような制限があります。

用紙系列	原稿の向き	制限
A系列	定寸たて	制限はありません。
	定寸よこ	原稿サイズ：A0は選択できません。 用紙選択：A0は選択できません。
	シンクロ	用紙選択：A4は選択できません。

左側へのコピー位置の制限

左側へのコピー位置を指定した場合、実際には次の量で移動します。(単位：mm)

ただし、プリンターの状態や用紙のセットの状態によって、異なる結果になることもあります。

指定量	実際の移動量	指定量	実際の移動量	指定量	実際の移動量
0	0	17	16	34	33
1	0	18	17	35	34
2	1	19	18	36	35
3	2	20	19	37	36
4	3	21	20	38	37
5	4	22	21	39	38
6	5	23	22	40	39
7	6	24	23	41	40
8	7	25	24	42	41
9	8	26	25	43	42
10	9	27	26	44	43
11	10	28	27	45	44
12	11	29	28	46	45
13	12	30	29	47	46
14	13	31	30	48	47
15	14	32	31	49	48
16	15	33	32	50	49

右側へのコピー位置の制限

右側へのコピー位置を指定した場合、実際には次の量で移動します。(単位：mm)

ただし、プリンターの状態や用紙のセットの状態によって、異なる結果になることもあります。

指定量	実際の移動量	指定量	実際の移動量	指定量	実際の移動量
0	0	17	17	34	35
1	1	18	18	35	35
2	2	19	18	36	36
3	4	20	20	37	37
4	4	21	21	38	39
5	5	22	23	39	39
6	6	23	23	40	40
7	8	24	24	41	41
8	8	25	25	42	41
9	9	26	27	43	43
10	10	27	27	44	44
11	12	28	28	45	46
12	12	29	29	46	46
13	13	30	31	47	47
14	14	31	31	48	48
15	16	32	32	49	50
16	16	33	33	50	50

3.1.3 スキャン機能での注意/制限

スキャン最大長について（解像度600 dpiの場合）

出力ファイル形式	カラーモード			
	フルカラー	グレースケール (256 階調)	白黒 (2 値) / 白黒擬似階調 (2 値)	赤黒 (2 値) / 赤黒擬似階調 (2 値)
TIFF	2,772 mm	2,772 mm	15,000 mm	3,156 mm
PDF	2,772 mm	2,772 mm	15,000 mm	15,000 mm
PDFセキュリティ	2,772 mm	2,772 mm	5,077 mm	5,077 mm
DocuWorks	2,772 mm	2,772 mm	2,774 mm	2,772 mm
JPEG	2,772 mm	2,772 mm	-	-

作成されるスキャンデータのファイルサイズについて

スキャンデータ生成時に1ファイルが以下のサイズを超えた場合は、タッチパネルディスプレイにエラーメッセージが表示されます。直前まで読み込んだ蓄積原稿でマルチページファイルを保存するか、すべてキャンセルするかを選択します。

出力ファイル形式	カラーモード			
	フルカラー	グレースケール (256 階調)	白黒 (2 値) / 白黒擬似階調 (2 値)	赤黒 (2 値) / 赤黒擬似階調 (2 値)
TIFF	2 GB	2 GB	2 GB	2 GB
PDF	2 GB	2 GB	2 GB	2 GB
DocuWorks	1 GB*	1 GB*	1 GB*	1 GB*
JPEG	2 GB	2 GB	-	-

* シングルページDocuWorksの場合は250 MBです。

作成される赤黒TIFFファイルについて

[赤黒 (2 値)] または [赤黒擬似階調 (2 値)] を指定してスキャンすると、出力ファイル形式で PDF、DocuWorks、JPEG など TIFF 以外のフォーマットを指定していても、次の場合に内部でフルカラーの TIFF ファイルが生成されます。そのため、読み取り最大長や、マルチページ TIFF のページ数制限が適用されます。

-保存先が親展ボックスの場合

-スキャナー (マルチ送信) で宛先に [プリンター] が指定されている場合

● 読み取り最大長

原稿幅	読み取り解像度	読み取り最大長
36"	150 dpi	15,000 mm
	200 dpi	15,000 mm
	300 dpi	12,626 mm
	400 dpi	7,098 mm
	600 dpi	3,156 mm
A0	150 dpi	15,000 mm
	200 dpi	15,000 mm
	300 dpi	13,728 mm
	400 dpi	7,722 mm
	600 dpi	3,432 mm

- マルチページTIFFのページ数制限

原稿サイズ	読み取り解像度				
	150 dpi	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
A4	740ページ	416ページ	185ページ	104ページ	46ページ
A3	370ページ	208ページ	92ページ	52ページ	23ページ
A2	185ページ	104ページ	46ページ	26ページ	11ページ
A1	92ページ	52ページ	23ページ	12ページ	5ページ
A0	46ページ	26ページ	11ページ	6ページ	2ページ

3

注意/制限事項について

作成される DocuWorks 文書のサイズについて

[出力ファイル形式] で [シングルページ DocuWorks] または [マルチページ DocuWorks] を選択した場合は、原稿サイズによって作成される DocuWorks 文書のサイズが異なります。

原稿サイズ	作成される DocuWork 文書
1辺が2,400 mmに収まるサイズ	原稿サイズと同じ*1
1辺が2,400 mmを超えるサイズ	1辺が2,400 mmに収まるサイズ*2*3

- *1 1辺が500 mmを超える場合、DocuWorks 7.0以降で表示できます。
- *2 DocuWorks文書は解像度を高めて保存するため、画像の品質は劣化しません。
DocuWorksDesk/Viewer 7.xから印刷する場合は、印刷画面上で「印刷用紙の大きさに合わせて拡大/縮小」を選択することで、任意のサイズにプリントできます。たとえば、印刷用紙サイズに次の「元のサイズ」情報のサイズを指定することで、原稿と同じサイズでプリントできます。
DocuWorksDesk上で対象の文書を選択（クリック）すると、画面左下に元のサイズ情報が表示されます。（例：「元のサイズ420×3,000 mm」）
- *3 たとえば、420×3,000 mmの原稿の場合は、336×2,400 mmのDocuWorks文書を作成します。

スキャナー（ボックス保存）について

- 親展ボックスのスキャンデータ最大保存容量は約12 GBです。
- お使いのアプリケーションによっては、コンピューターからの取り出しに失敗して、文書を消失してしまうことがあります。スキャンに関する注意制限の詳細については、弊社ダウンロードサイトのネットワークスキャナ ユーティリティ 3のページに記載している「注意制限事項」を参照してください。
- ネットワークスキャナードライバーのスキャンデータ一覧の画面では、非定形文書の [サイズ] 項目が空白になります。
- 複数のコンピューターから同時に、同じ親展ボックス内の同じ文書を取り出すことはできません。

スキャナー（マルチ送信）について

- 論理プリンターについて

論理プリンター個別の設定は、CentreWare Internet Services上で行います。
本機からは設定および確認はできません。



参照

- CentreWare Internet Services については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

- ローカルプリントを [する] とした場合の、論理プリンターの描画色の設定機能について
- [赤黒 (2値)]、または [赤黒疑似階調 (2値)] を指定してスキャンした場合
CentreWare Internet Services で [プリント設定] > [VERSATEC] フォーマットの論理プリンターの編集 > [出力設定] > [描画色の指定] > [描画色の指定] の [有効] チェックボックスをオンにしてプリントした場合、プリント結果が白黒に見えても赤を含むプリントとして処理されることがあります。確実に白黒でプリントしたい場合は、[描画色の指定] の [有効] チェックボックスをオフにしてください。
- [フルカラー]、[グレースケール (256階調)]、[白黒 (2値)]、[白黒疑似階調 (2値)] を指定してスキャンした場合
CentreWare Internet Services で [プリント設定] > [TIFF/JPEG] フォーマットの論理プリンターの編集 > [出力設定] > [描画色の指定] > [カラーマップの編集] で、カラーマップの各色に対応した色を赤に設定した場合、プリント結果が白黒に見えても赤を含むプリントとして処理されることがあります。確実に白黒でプリントしたい場合は、[出力設定] > [描画色の指定] > [カラーモード] を [ソリッド (黒)] に設定するか、[カラーマップの編集] でカラーマップ8色すべてを、黒または白に設定してください。
- 白黒に見えても赤を含むプリントとして処理される例として、次のような場合があります。
 - 赤で描画される点と黒/白のオブジェクトが重なっている場合
 - 設定した印刷用紙の領域外に赤で描画される点がある場合
 - 微小な赤点が描画されている場合
- プリントについて
- DocuWide シリーズ以外のプリンターで、存在しない論理プリンター (番号、名前) を指定した場合、出力結果はプリンターの仕様に従います。
- DocuWide シリーズ以外のプリンターの場合、部数はスキャンのプリント設定画面での設定と、出力するプリンターが持つ論理プリンターの設定の両方の影響を受けることがあります。
- スキャナー (マルチ送信) で、[赤黒 (2値)] または [赤黒疑似階調 (2値)] のスキャンデータをプリンター (DocuWide 9098α) に転送して赤黒で出力する場合、CentreWare Internet Services で [プリント設定] > [TIFF/JPEG] フォーマットの論理プリンターの編集 > [出力設定] > [描画色の指定] を選択し、[カラーモード] と [カラーマップ] を設定して赤を描画するようにしてください。
- スキャナー (マルチ送信) で、[赤黒 (2値)] または [赤黒疑似階調 (2値)] のスキャンデータを赤黒でローカルプリントする場合、CentreWare Internet Services で [プリント設定] > [VERSATEC] フォーマットの論理プリンターの編集 > [出力設定] > [描画色の指定] > [描画色の指定] の [有効] チェックボックスをオンにしてください。
- IPv6接続におけるスキャンデータ送信について

TCP/IP IP 動作モード	接続先	スキャナー (PC 保存) / スキャナー (マルチ送信)		
		ネットワーク参照	サーバー保存	プリンター送信
IPv6モード	同一サブネット	x	△*3	○
	異なるサブネット	x	△*3	○
デュアルスタック	同一サブネット	○*1	△*3	○
	異なるサブネット	△*2	△*3	○

*1 IPv4環境で動作。

*2 IPv4環境で動作するネットワーク内にドメインコントローラが設置されている場合は可能。

*3 Windows Vista以降、Windows Server 2008以降で可能。

3.1.4 スキャナー & コピー機能での注意/制限

スキャナー & コピーの動作について

- プリントジョブの処理中は、スキャナー & コピーはできません。
- 処理中のコピーデータがある場合は、[スキャナー & コピー] 画面からメニュー画面に移行できません。コピーやスタンプの処理が終了してから移行してください。
- スキャナー & コピーで、縮小を指定してプリントすると、処理時間が長くなることがあります。

不正な処理を行ってDW-Scan V Serviceが強制終了した場合

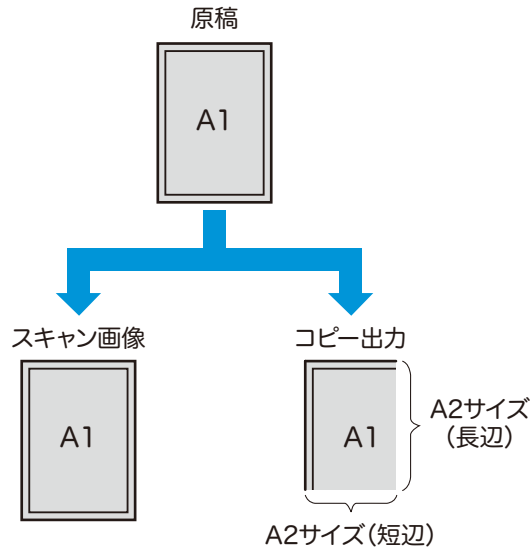
- DW-Scan V Serviceと本機を接続しているときに不正な処理を行って強制終了した場合、パネル操作でメニュー画面に戻ることができなくなります。DW-Scan V Serviceを再起動してもう一度読み取りを開始するか、本機を再起動してください。DW-Scan V Service から再接続する場合、1度目はDW-Scan V Serviceにエラーが発生しますが、2度目は正常に読み取りを開始できます。

原稿サイズと用紙サイズが異なる場合

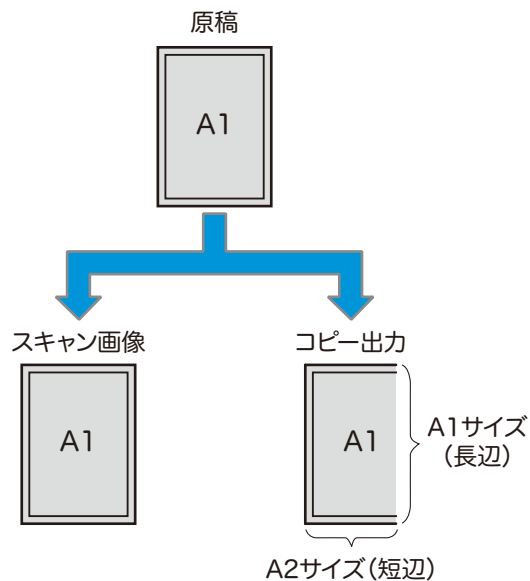
原稿サイズと用紙サイズが異なる場合は、スキャン画像とコピー出力結果が一致しないことがあります。

- 用紙サイズが原稿サイズよりも小さい場合

A1 定形たて原稿を、「A2ロール/定寸たて」に指定してスキャナー & コピーする場合

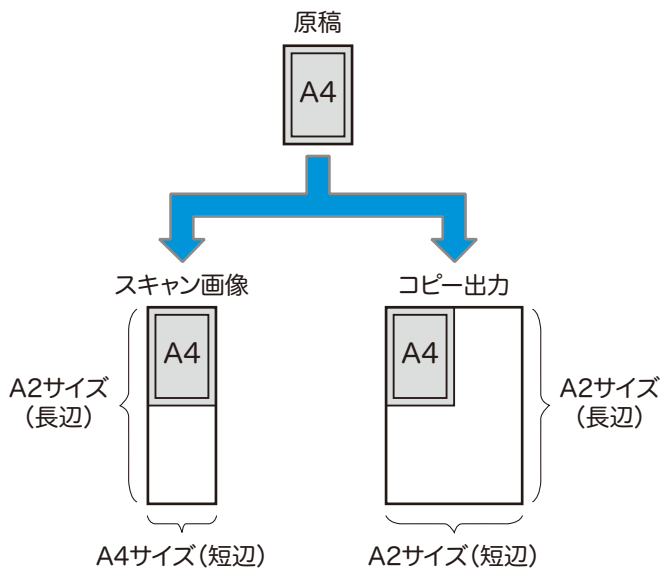


A1定形たて原稿を、「A2ロール/シンクロ」に指定してスキャナー & コピーする場合

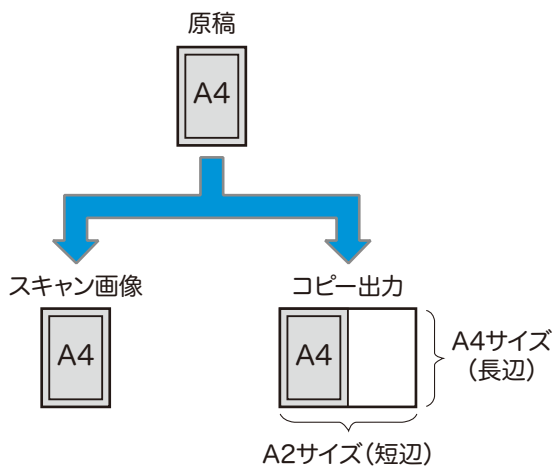


- 用紙サイズが原稿サイズよりも大きい場合

A4定形たて原稿を、「A2ロール/定寸たて」に指定してスキャナー & コピーする場合



A4定形たて原稿を、「A2ロール/シンクロ」に指定してスキャナー & コピーする場合



スキャン画像の余白について

- コピー設定の [コピー位置] で [上方向] を設定した場合は、または [読み取り開始位置] で [下方向] を設定した場合は、スキャン画像の下に余白が付きます。

スキャン画像とコピー出力について

- コピー機能によって出力を加工する場合は、コピー出力にだけ反映され、スキャン画像には反映されないものがあります。

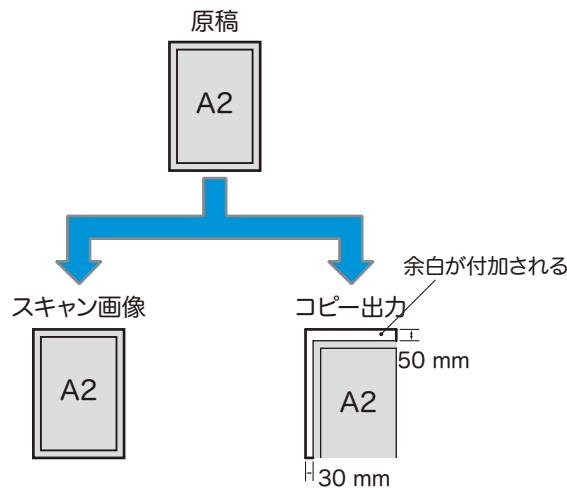
スキャン画像に反映されないものは、次のとおりです。

- ◆ コピー位置（上下、左右、センター移動）
- ◆ わく消し
- ◆ 読み取り開始位置
- ◆ カット方法をシンクロ指定時の先後端余白
- ◆ スタンプ



補足

- コピー位置調整を行い、A2定形たて原稿を、下方向に50 mm、右方向に30 mm移動した場合

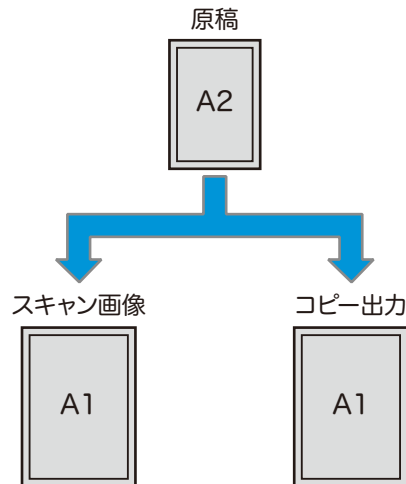


- 画像の画質および拡大縮小などの画像処理に関する設定は、スキャン画像とコピー出力ともに反映されません。スキャン画像とコピー出力ともに反映されるものは、次のとおりです。

- ◆ 縮小/拡大、たてよこ独立変倍
- ◆ 鏡像
- ◆ ネガポジ反転
- ◆ 地色除去
- ◆ 中間調の振り分け
- ◆ 原稿の画質



- A2定形たて原稿を141%拡大し、A1ロールに出力する場合



3.1.5 プリント機能での注意/制限



参照

- プリント機能での注意/制限は、CentreWare Internet Servicesのヘルプも参照してください。

コピー/スキャン操作中のプリントについて

スキャナー（ボックス保存）とスキャナー（PC保存）の場合、スキャン操作中でもプリントすることができます。

コピーまたはスキャナー（マルチ送信）の場合は、コピー/スキャン操作の終了後に次のタイミングでプリントが開始されます。

- 何も操作しない場合

モード確保時間（30秒固定）経過後、仕様設定機能で設定した〔プロットモード移行時間〕を過ぎた時点で、プリントが開始されます。

〔プロットモード移行時間〕の工場出荷時の値は30秒ですので、コピー/スキャン操作の終了後、1分（モード確保時間（30秒）+プロットモード移行時間（30秒））経過するとプリントが開始されます。

- モード確保時間（30秒）中に操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押した場合

モード確保時間（30秒固定）はキャンセルされ、〈メニュー〉ボタンを押してから、仕様設定機能で設定した〔プロットモード移行時間〕を過ぎた時点で、プリントが開始されます。

たとえば、コピー/スキャン操作が終了してから10秒後に〈メニュー〉ボタンを押した場合、40秒（〈メニュー〉ボタンを押すまでの時間（10秒）+プロットモード移行時間（30秒：工場出荷時））経過するとプリントが開始されます。



参照

- 〔プロットモード移行時間〕の設定方法については、『ユーザーズガイド』の「11.3.8 詳細設定」を参照してください。

スキャナー & コピー操作中のプリントについて

スキャナー & コピーの設定中または実行中は、ネットワークプリントジョブはキューイングされるだけでプリントされません。スキャナー & コピーを終了してメニュー画面へ戻ってから、仕様設定機能で設定した [プロットモード移行時間] を過ぎた時点で、プリントが開始されます。



● [プロットモード移行時間] の設定方法については、『ユーザーズガイド』の「11.3.8 詳細設定」を参照してください。

ArcEPSを使用したプリントについて

ArcEPSを使ってプリントしている場合、ジョブ確認画面の [実行中/待ち] タブの [相手/内容] に [占有モード] と表示されます。この間は、ArcEPS 以外のプリントは受信しますが、占有モードを解除するまでプリントされません。

3.1.6 IPv6 接続の注意/ 制限

- マルチプレフィックス環境 (IPv6 グローバルアドレスを複数扱う環境) では、本機から外部ネットワークへの送信に失敗する可能性があります。
- マルチプレフィックス環境 (IPv6 グローバルアドレスを複数扱う環境) では、登録されていないアドレスで通信されることがあります。
- 自動設定するIPv6 アドレス (IPv6 自動設定アドレス、IPv6 DNS サーバーアドレス) には、取得したIPv6 アドレスが運用上使用できないアドレスが設定されることがあります。
運用上使用できないIPv6 アドレスとは、サイトローカルアドレス (fec0::) や文書作成用アドレス空間 (2001:db8::/32) のアドレスのことです。
- IP 動作モードがデュアルスタックで、IPv4/IPv6 とともにDNS 情報が設定されていて、FQDN で指定されている装置と通信するとき、本機の起動直後には、IPv4 のDNS 情報が使用されることがあります。
- 本機のIP アドレスとして表示されるアドレスが変わることがあります。たとえば、デュアルスタックモードでIPv4 アドレスとIPv6 アドレスのどちらか一方が表示されない、IPv6アドレスの内容が変わるなどです。
- WINS はIPv6 ネットワークでは通信できません。
- 本機で「IPv6 有効」かつ「IPv4 無効」が設定されている場合、スキャナー (PC 保存) のSMB 転送のネットワーク参照機能による格納先指定が使用できません。
- IPv4環境ではブロードキャストを使用したルータ超え検索ができますが、IPv6環境ではブロードキャスト検索はできません。また、ルータを超えた検索には対応していないので、マルチキャストに回答するのはローカルリンク内でのマルチキャスト (FF02::1) だけです。
- DNSサーバーが存在しないIPv6ネットワーク環境では、スキャナー (PC保存) の保存先サーバーにサーバー名を指定すると、スキャンしたデータの送信に失敗します。

3.1.7 その他の注意/制限

フォルダー（オプション）使用時について

- 紙折りしたあと、折り部または折り部の近くではがれたトナーが印刷面に付着する場合があります。

線のゆらぎについて

- 機構上、用紙幅方向の直線での一部で、ゆらぎが発生する場合があります。

第4章 DocuWide 9098α の活用事例

4.1	コピーする	72
4.2	スキャンする	86

4.1 コピーする

4.1.1 用紙サイズを指定してコピーする（オートモード）

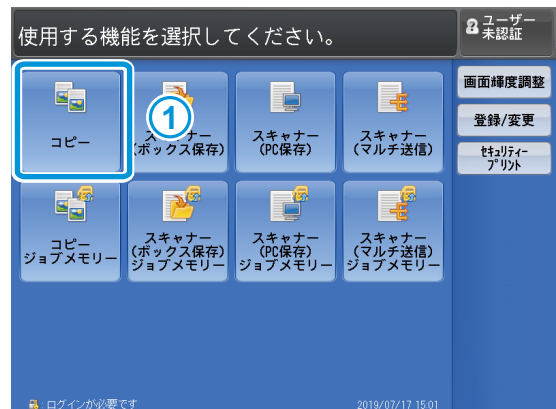
- オートモードは、原稿サイズごとに出力する用紙サイズを対応表（マトリックス）を使ってあらかじめ設定しておくことで、自動的に拡大 / 縮小してコピーする機能です。本機では、出力する用紙の向きを、用紙サイズごとに設定することができます。このことにより、原稿はすべてたて方向に挿入し、折り姿を整えるために、A2 サイズだけよこ向きに出力するといった使い方が簡単にできます。
次の例では、A2 サイズの原稿は A1 サイズに拡大（141.4%）されます（四角で囲った部分が設定値です）。

原稿の向き	原稿サイズ					用紙の向き
	A0	A1	A2	A3	A4	
定形たて	A0	A0	A0	A0	A0	たて
定形よこ	A1	A1	A1	A1	A1	たて
シンクロ	A2	A2	A2	A2	A2	たて
カラーモード	A3	A3	A3	A3	A3	たて
白黒	A4	A4	A4	A4	A4	たて

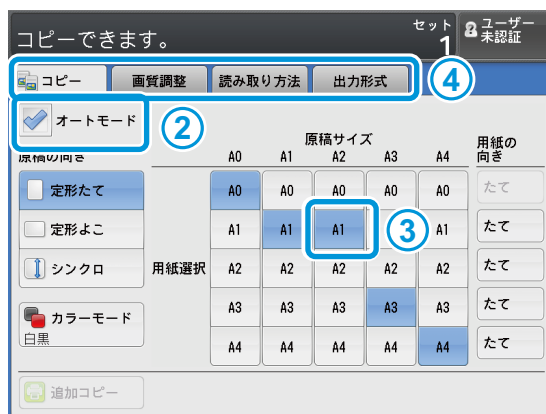
原稿 (A2) → 拡大 → コピー (A1)

ここでは、A2 定形原稿をたて方向に挿入し、A1 用紙（A1 ロール紙たて向き）に拡大コピーする例を説明します。

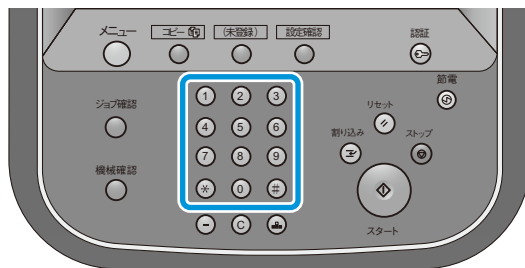
1. メニュー画面で [コピー] を押します。



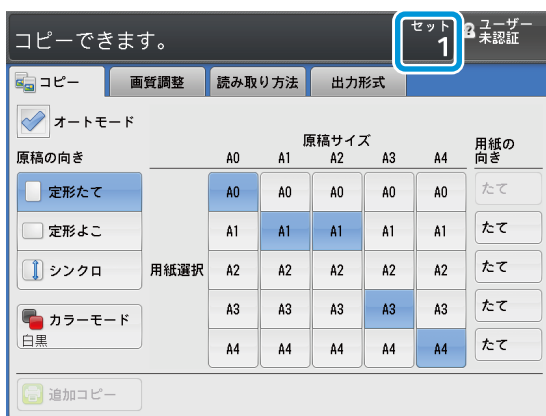
2. [オートモード] チェックボックスがオンになっていることを確認します。
3. [原稿サイズ] は [A2] 、[用紙選択] は [A1] のマトリックスを押します。
4. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。



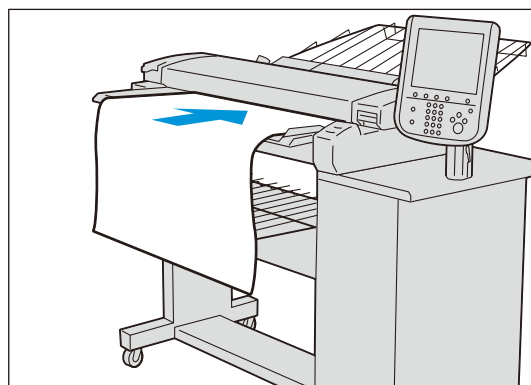
5. 〈数字〉ボタンでコピー部数を入力します。



入力した部数がタッチパネルディスプレイの右上に表示されます。

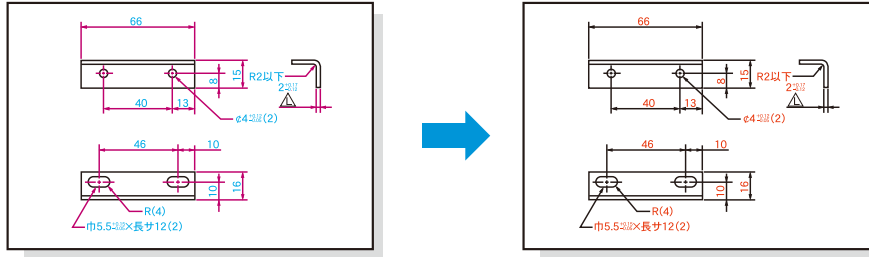


6. コピーする面を下に向け、原稿ガイドに合わせて奥に突き当たるまで挿入します。
原稿が自動的に引き込まれ、いったん停止します。
その後、原稿の読み込みが自動的にスタートします。

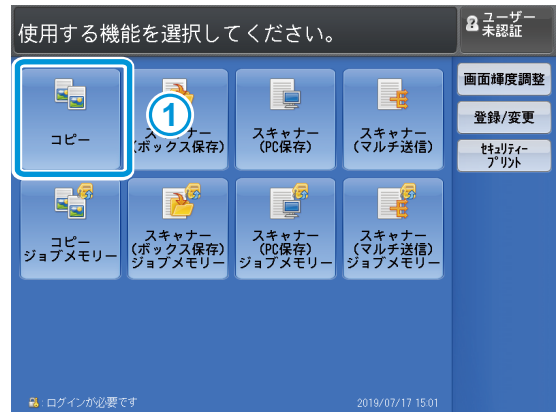


4.1.2 原稿上の指定した色を赤色でコピーする（赤黒コピー）

- 指定した色を赤色に置き換えてコピーします。



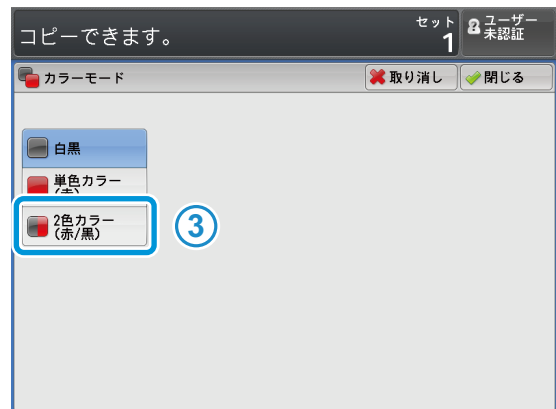
- メニュー画面で [コピー] を押します。



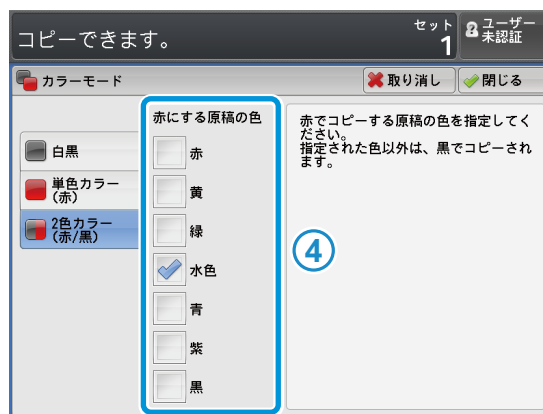
- [カラーモード] を押します。



- [2色カラー (赤/黒)] を押します。



4. 赤色でコピーする原稿の色を選択します。
5. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。
6. 操作パネルの〈数字〉ボタンでコピー部数を入力します。
入力した部数がタッチパネルディスプレイの右上に表示されます。
7. コピーする面を下に向け、原稿ガイドに合わせて奥に突き当たるまで挿入します。
原稿が自動的に引き込まれ、いったん停止します。
その後、原稿の読み込みが自動的にスタートします。

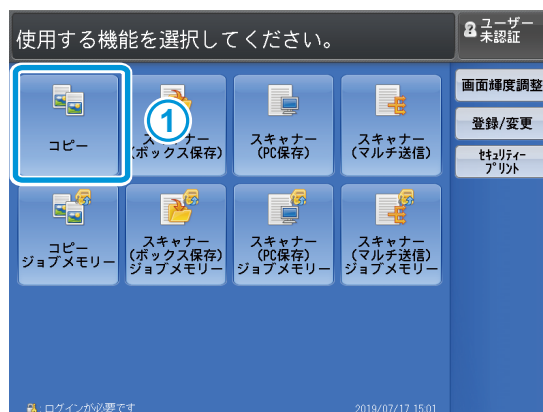


4.1.3 原稿上の色を編集する

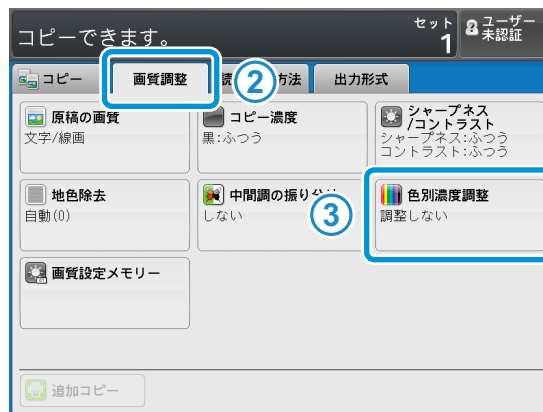
- 「原稿上の指定した色の濃度を変える（色別濃度調整）」(P.75) では、カラー原稿をコピーするときに、画像の色別にコピーの濃度を変えることができます。
- 「原稿上の指定した色を削除する（色カット）」(P.76) では、カラー原稿上の特定の色の画像を削除してコピーできます。

原稿上の指定した色の濃度を変える（色別濃度調整）

1. メニュー画面で [コピー] を押します。



2. [画質調整] タブを押します。
3. [色別濃度調整] を押します。

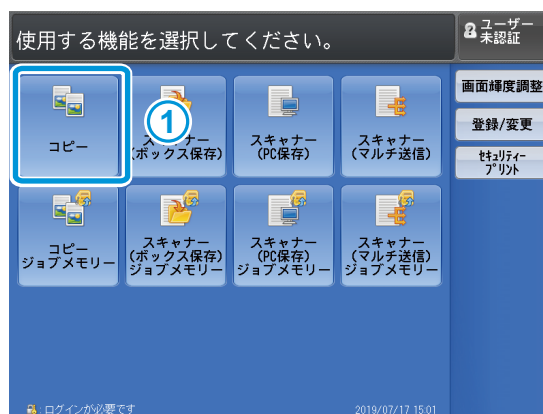


4. [調整する] チェックボックスをオンにします。
5. 各色を調整します。
6. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。
7. 操作パネルの〈数字〉ボタンでコピー部数を入力します。
入力した部数がタッチパネルディスプレイの右上に表示されます。
8. コピーする面を下に向け、原稿ガイドに合わせて奥に突き当たるまで挿入します。
原稿が自動的に引き込まれ、いったん停止します。
その後、原稿の読み込みが自動的にスタートします。

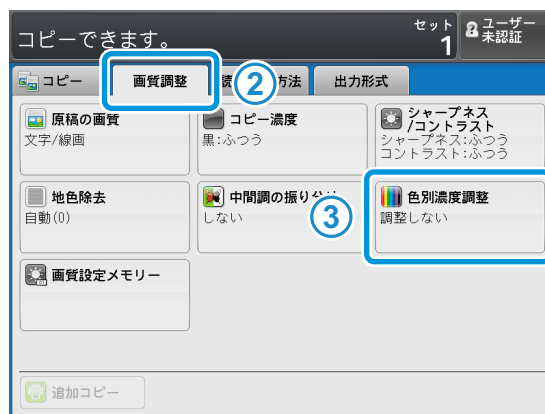


原稿上の指定した色を削除する（色カット）

1. メニュー画面で [コピー] を押します。



2. [画質調整] を押します。
3. [色別濃度調整] を押します。





4. [調整する] チェックボックスをオンにします。
5. カットしたい色のチェックボックスをオンにします。
6. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。
7. 操作パネルの〈数字〉ボタンでコピー部数を入力します。
入力した部数がタッチパネルディスプレイの右上に表示されます。
8. コピーする面を下に向け、原稿ガイドに合わせて奥に突き当たるまで挿入します。
原稿が自動的に引き込まれ、いったん停止します。
その後、原稿の読み込みが自動的にスタートします。

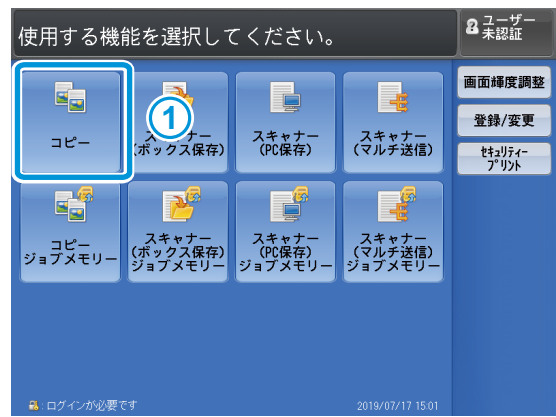


4.1.4 手差しで給紙する（手差しコピー）

非定形サイズの内紙や、あまり使わないサイズの用紙は、手差しテーブルからコピーできます。

-  **注記**
 - 指定した用紙と異なるサイズの用紙をセットすると、イメージが欠けたり、余白が付いたりすることがあります。
-  **補足**
 - 手差しコピーをするときは、次の機能は設定できません。
 - コピー位置（センター移動、コーナー移動）
 - 紙折り
 - 仕分け（ソート（1部ごと）、マルチジョブ）
 - 先端後端余白
 - サンプルコピー

1. メニュー画面で [コピー] を押します。



2. [オートモード] チェックボックスをオフにします。

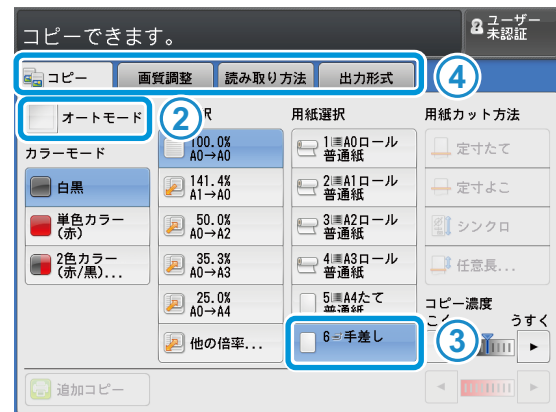
3. [手差し] を押します。

4. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。

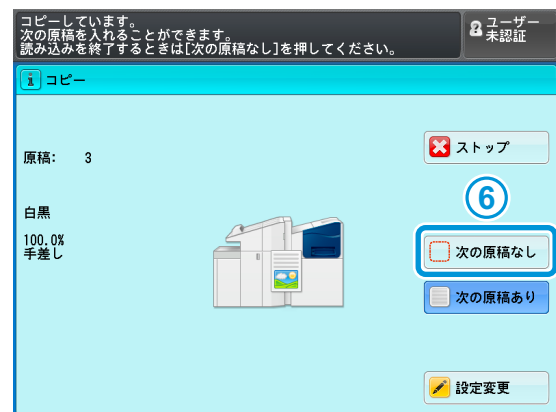
5. コピーする面を下に向け、原稿ガイドに合わせて奥に突き当たるまで挿入します。

原稿が自動的に引き込まれ、いったん停止します。

その後、原稿の読み込みが自動的にスタートします。



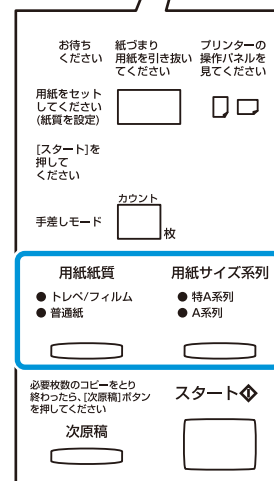
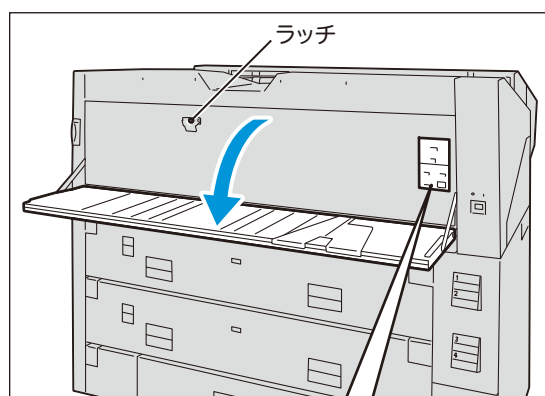
6. すべての原稿を読み終えたら、[次の原稿なし] を押します。



7. 右の画面が表示されたら、プリンターの操作パネルの指示に従って操作します。



8. ラッチを押しながら手差しテーブルを手前に倒して開けます。
9. 手差しパネルの用紙紙質、用紙サイズ系列のボタンで、セットする用紙の種類を指定します。

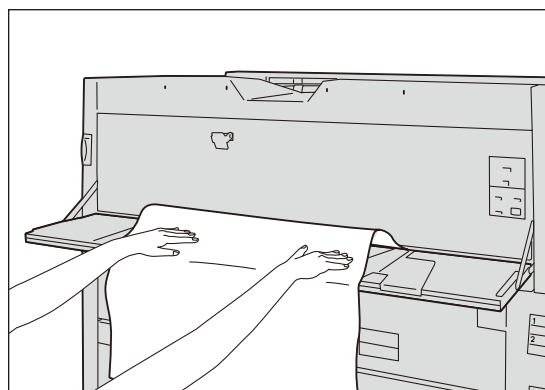


10. 用紙の右端をガイドに合わせて、挿入します。
用紙が突き当たって止まったら、さらに用紙を押して3 cm以上のループを作ります。
用紙が自動的に引き込まれ、停止します。



注記

- 用紙は1枚ずつセットしてください。
- 用紙端部がカールしているときは、両手で用紙のカールを押さえながら挿入してください。
- 用紙が搬送されるまで、手を離さないでください。止まったところで手を離すと、用紙がつまることがあります。

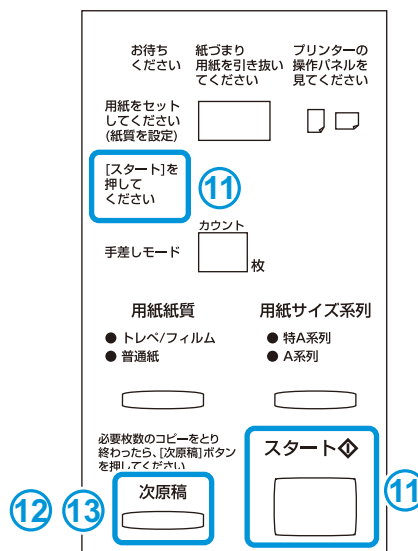


11. 手差しパネルの「スタートを押してください」が点灯したら、〈スタート〉ボタンを押します。
コピーが始まります。



- 補足** • 複数枚のコピーをとるときは、手順10.と11.を繰り返します。

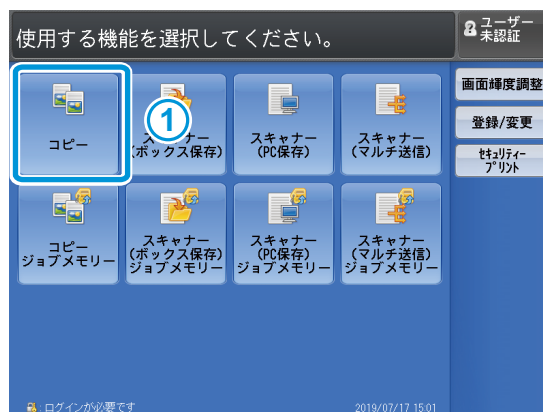
12. 次の原稿をコピーする場合は、〈次原稿〉ボタンを押します。
2枚めに読み込んだ原稿のコピーを開始します。
13. 手差しコピーを終了するときには、〈次原稿〉ボタンを押します。
14. コピーが終了したら、手差しテーブルを元に戻します。



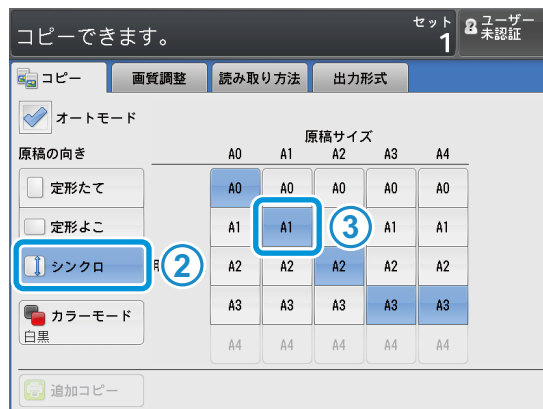
4.1.5 長尺原稿をコピーする

ここでは、A1幅、長さ3,000 mmの原稿を、A1ロール紙に同じ幅と長さでコピーする例を説明します。

1. メニュー画面で「コピー」を押します。



2. 「シンクロ」を押します。
3. 「原稿サイズ」と「用紙選択」は、「A1」のマトリックスが選択されていることを確認します。
4. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。
5. 操作パネルの〈数字〉ボタンでコピー部数を入力します。
入力した部数がタッチパネルディスプレイの右上に表示されます。
6. コピーする面を下に向け、原稿ガイドに合わせて奥に突き当たるまで挿入します。



原稿が自動的に引き込まれ、いったん停止します。
その後、原稿の読み込みが自動的にスタートします。

4.1.6 紙折りしてコピーする

コピーされた用紙を、フォルダー（オプション）でA4サイズに折ることができます。



注記

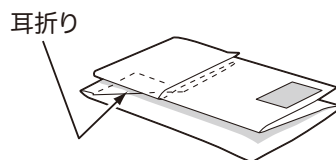
- この機能は、オプションのフォルダーが接続されているときに有効です。
- 次の場合、紙折り指定は無視され、用紙はプリンタートレイから排出されます。
 - 手差しテーブルを使用
 - フィルムを使用
 - トレーシングペーパーを使用
- 原稿の入れ方によっては、意図した折り方にならないことがあるので注意してください。



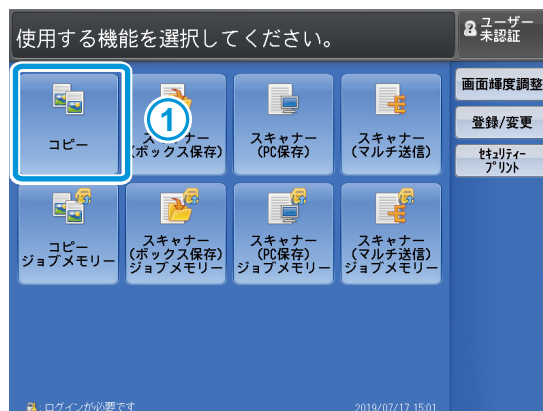
参照

- 紙折りについては、『ユーザーズガイド』の「第9章 紙折り（フォルダー）」を参照してください。

ここでは、A2定型原稿をファン折りして、耳折りする例を説明します。



1. メニュー画面で [コピー] を押します。



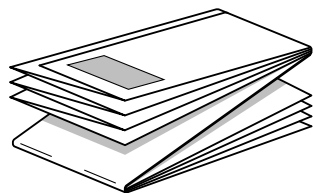
2. [出力形式] タブを押します。

3. [紙折り] を押します。



4. [ファン] を押します。

仕上りのサイズが A4（用紙方向がたてのとき：210 mm、用紙方向がよこのとき：297 mm）で、ファイルに綴じたまま、開くことができるように紙折りされます。



5. [耳折り] チェックボックスをオンにします。

6. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。

7. コピーする面を下に向け、原稿ガイドに合わせて奥に突き当たるまで挿入します。

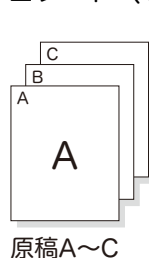
原稿が自動的に引き込まれ、いったん停止します。

その後、原稿の読み込みが自動的にスタートします。

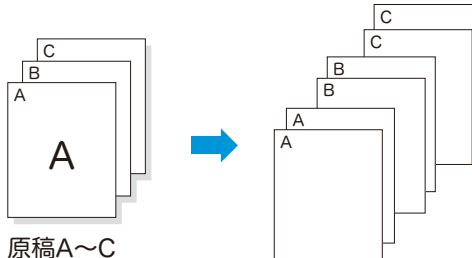
4.1.7 複数枚の原稿をコピーする（1部ごとにソート）

- 複数枚の原稿をコピーするときに、1部ごとにソートして出力できます。

■ソート（1部ごと）

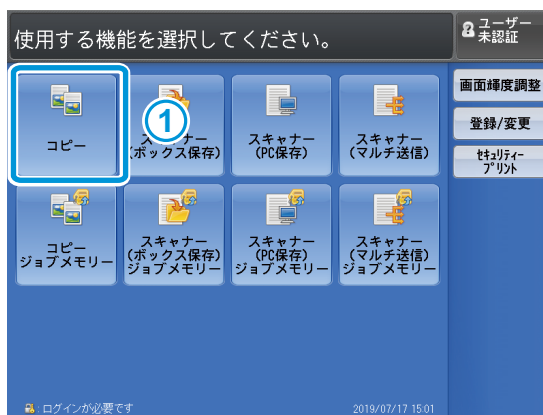


■スタック（ページごと）

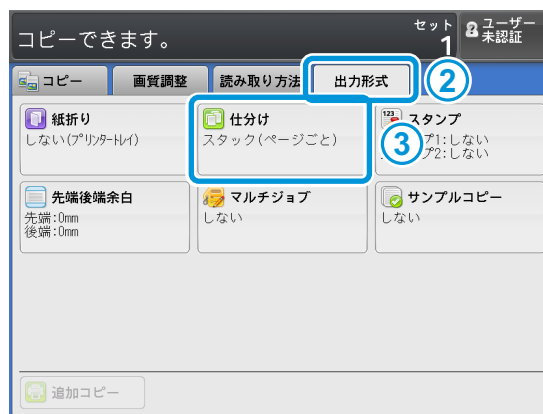


ここでは、1部ごとにソートしてバナーシートを挿入し、読み込んだ原稿の順番にコピー排出（正順排出）する例を説明します。

1. メニュー画面で [コピー] を押します。



2. [出力形式] タブを押します。
3. [仕分け] を押します。

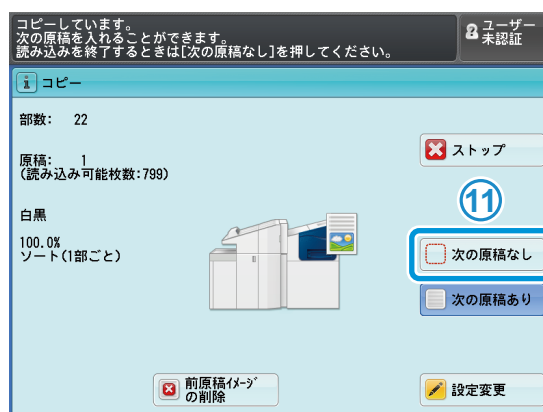


4. [ソート (1部ごと)] を押します。
5. [挿入する] を押します。



補足 ・バナーシートには、部数番号と時刻が印字されます。

6. [正順排出] が選択されていることを確認します。
7. 必要に応じて、そのほかの機能を設定をします。
8. 操作パネルの〈数字〉ボタンでコピー部数を入力します。
入力した部数がタッチパネルディスプレイの右上に表示されます。
9. 1枚めの原稿のコピーする面を下に向け、原稿ガイドに合わせて奥に突き当たるまで挿入します。
原稿が自動的に引き込まれ、いったん停止します。
その後、原稿の読み込みが自動的にスタートします。
10. 次の原稿をセットします。
さらに原稿が続くときは、この手順を繰り返します。
11. すべての原稿を読み取ったら、[次の原稿なし] を押します。

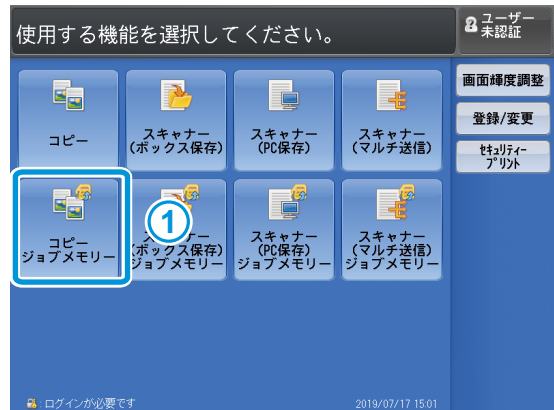


4.1.8 コピージョブメモリーを呼び出す

- コピーの各機能タブの各項目、およびコピー部数をメモリーに登録しておき、必要なときに呼び出すことができます。

参照 • コピージョブメモリーの登録方法については、『ユーザーズガイド』の「5.2.1 ジョブメモリーを登録する」を参照してください。

1. メニュー画面で[コピー ジョブメモリー]を押します。



2. 呼び出したい機能が登録されている、コピージョブメモリーの番号を選択します。



補足

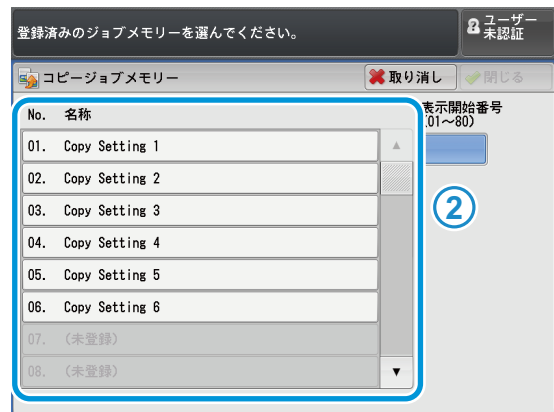
- 登録されている番号だけを選択できます。
- [▲] を押して前画面、[▼] を押して次画面を表示できます。
- 任意のコピージョブメモリー番号を先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] にコピージョブメモリー番号を入力してください。

3. コピージョブメモリーが呼び出されたら、必要に応じて、そのほかの機能を設定します。

4. コピーする面を下に向け、原稿ガイドに合わせて奥に突き当たるまで挿入します。

原稿が自動的に引き込まれ、いったん停止します。

その後、原稿の読み込みが自動的にスタートします。

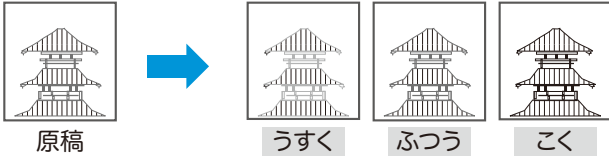

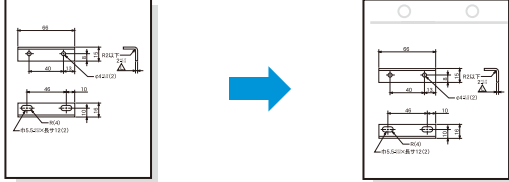
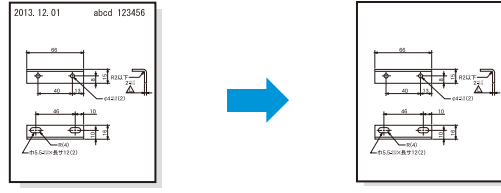
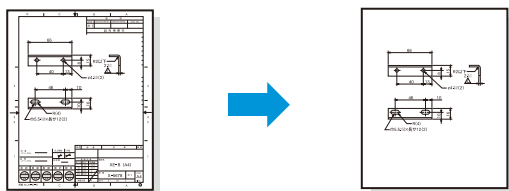
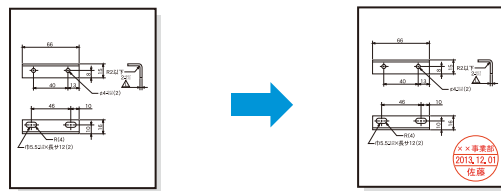
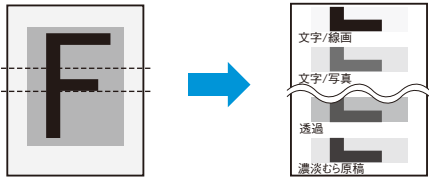
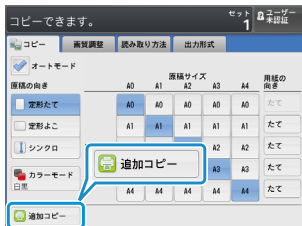


4.1.9 そのほかのコピー機能



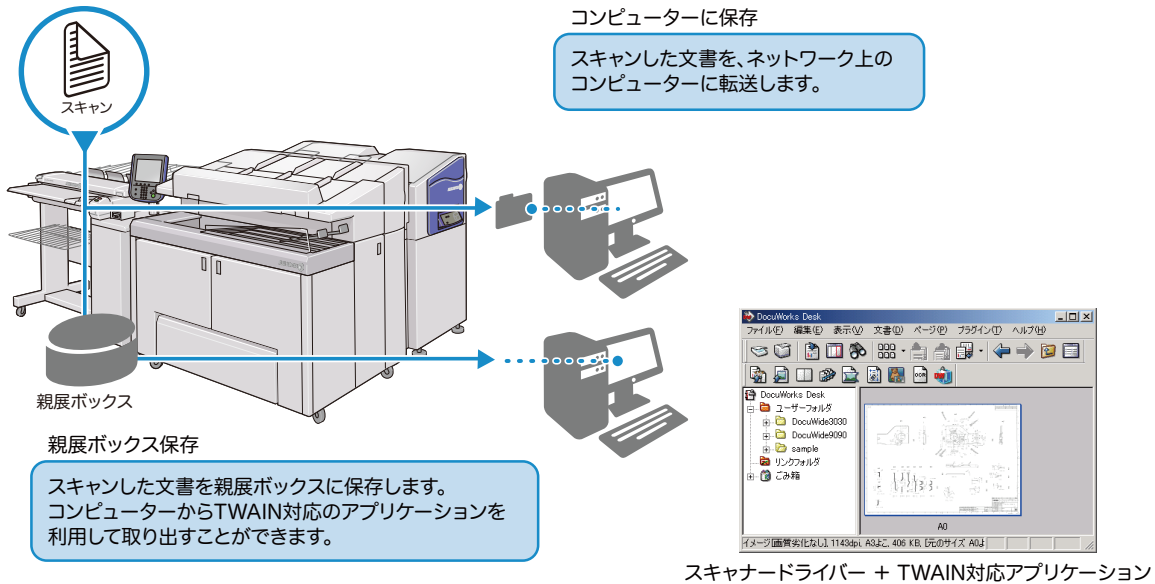
補足

• 各機能の操作方法については、『ユーザーズガイド』の「第2章 コピー」を参照してください。

コピー濃度	地色除去
<p>コピー濃度を調整してコピーします。</p>  <p>原稿 うすく ふつう こく</p>	<p>青焼き原稿などの下地の色を除去してコピーします。</p> 
コピー位置	読み取り開始位置
<p>画像イメージの位置を移動してコピーします。 原稿の端に書いてある文字をコピーしたいときや、パンチ穴をあけたいときに使用します。</p> 	<p>原稿を読み取りはじめる位置を設定します。 ヘッダーなどの不要な部分を読み飛ばしたいときに使用します。</p> 
わく消し	スタンプ (オプション)
<p>原稿の枠を消してコピーします。 図面の図枠を消したいときなどに使用します。</p> 	<p>スタンプを付けてコピーします。 スタンプの色は、黒、赤、グレーから選択できます。</p> 
サンプルコピー	追加コピー
<p>原稿の一部をサンプルとしてコピーできます。</p> 	<p>もう一度原稿を読み込まなくても、直前にコピーした原稿をコピーすることができます。 追加コピー時に画質の設定を変更できます。</p> 

4.2 スキャンする

- スキャンには、次の2つの方法があります。



- 操作の流れ

(1) スキャンの準備	
①	本機でスキャナーネットワークの設定をする（管理者にご相談ください）
②	パソコンに保存の場合 <ul style="list-style-type: none"> ●本機でネットワーク共有の設定をする（管理者にご相談ください） ●コンピュータに共有フォルダーを作成する 親展ボックス保存の場合 <ul style="list-style-type: none"> ●本機で親展ボックスを登録する ●スキャナードライバー（ネットワーク接続）をコンピュータにインストールする
(2) スキャン	
①	本機で保存先を選択し、原稿をスキャンする
②	親展ボックス保存の場合、コンピュータでスキャンした文書を取り込む

- スキャン機能とファイル形式について

スキャン機能	取り込み方法	ファイル形式			
		PDF	XDW	TIFF	JPEG
ボックス保存	TWAIN対応アプリケーション	○*			
	親展ボックスビューワー 3	×	×	○	○
	CentreWare Internet Services	○	○	○	○
PC保存	—	○	○	○	○
マルチ送信	—	○	○	○	○

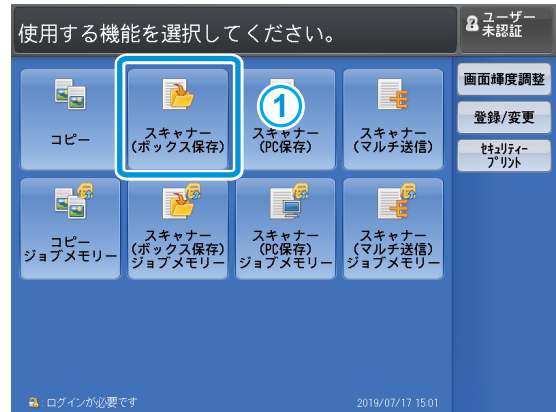
* 親展ボックスから TWAIN 対応アプリケーションを使用してスキャンデータを取り込む場合、ファイル形式は使用するアプリケーションに依存します。

4.2.1 原稿上の指定した色を赤色でスキャンする（赤黒スキャン）

指定した色を赤色に置き換えてスキャンします。スキャンしたデータのファイルサイズは、フルカラーでスキャンしたときよりも小さくなります。

ここでは、親展ボックス保存を例に説明します。

1. メニュー画面で [スキャナー（ボックス保存）] を押します。



2. 保存する親展ボックスを指定します。



補足

- 登録されている番号だけを選択できます。
- [▲] を押して前画面、[▼] を押して次画面を表示できます。
- 任意の親展ボックスを先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] に親展ボックスの番号を入力してください。

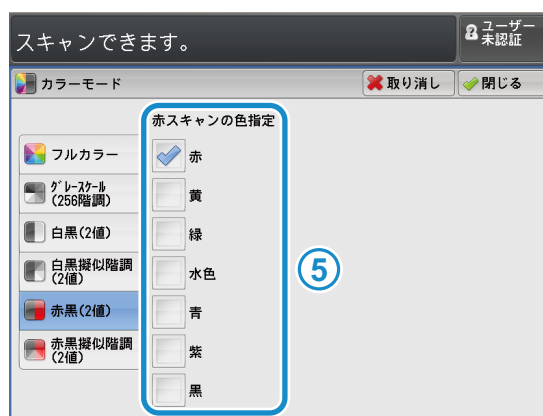
3. [決定] を押します。



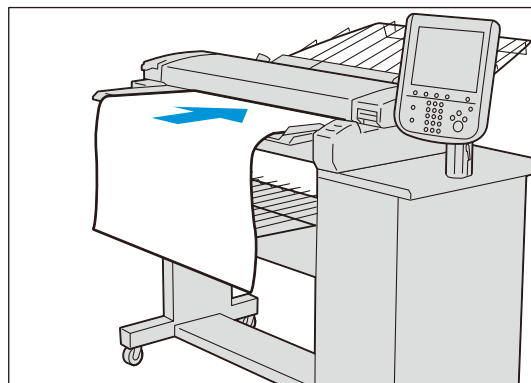
4. [赤黒（2値）] または [赤黒擬似階調（2値）] を選択します。



- 赤色でスキャンする原稿の色を選択します。
- 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。



- スキャンする面を下に向け、原稿ガイドに合わせて奥に突き当たるまで挿入します。
原稿が自動的に引き込まれ、いったん停止します。
その後、原稿の読み込みが自動的にスタートします。



さくいん

記号・英数

USBコネクター	25
Uターンガイド.....	25

あ

赤黒コピー	74
赤黒スキャン.....	87
赤トナーを補給する.....	42

い

色カット	76
色別濃度調整.....	75
インターフェイスカバー	25

お

オートモード.....	72
オプションインターフェイス コネクター.....	25

か

各部の名称と働き	24
カット紙の補給/交換	34
下部ドア	28
紙折りコピー.....	81
紙づまり	
スキャナーの処置箇所	52
フォルダーの処置箇所	54
プリンターの処置箇所	53

く

黒トナーを補給する.....	40
----------------	----

け

原稿厚調整レバー	25
原稿ガイド	25
原稿カバー	25
原稿後方収容トレイ.....	25
〈原稿スタート〉ボタン.....	26
原稿ストックトレイ.....	26
〈原稿ストップ〉ボタン.....	25
原稿テーブル.....	25

原稿について	48
原稿取り扱い上の注意事項	48
使用できる原稿.....	48
原稿枚数カウンター	25

こ

コピー	72
コピー機能での注意/制限	59
オートモードの用紙サイズの制限	59
左側へのコピー位置の制限	59
コピージョブメモリー	84

し

主電源スイッチ	26
上部カバー.....	28
上部ドア	28
上部ドア1	28
消耗品を交換する.....	38

す

スキャナー & コピー機能での注意/制限	64
原稿サイズと用紙サイズが異なる場合	64
スキャナー & コピーの動作.....	64
スキャン画像とコピー出力	66
スキャン画像の余白	66
不正な処理を行ってDW-Scan V Serviceが 強制終了した場合	64
スキャン	86
スキャン機能での注意/制限	60
作成される DocuWorks 文書のサイズ.....	62
作成される赤黒 TIFF ファイル	61
作成されるスキャンデータのファイルサイズ	61
スキャナー (ボックス保存)	62
スキャナー (マルチ送信).....	62
スキャン最大長.....	60
スタイラスペン	25
スタイラスペンホルダー	25
スタッカー.....	28
ストッパー.....	28

せ

清掃.....	45
---------	----

センタードア.....	28
-------------	----

そ

ソート.....	82
操作パネル.....	25
そのほかのコピー機能.....	85

ち

注意/制限事項.....	58
--------------	----

て

手差しコピー.....	77
手差しテーブル.....	26
電源スイッチ（プリンター）.....	26
電源ブレーカー（スキャナー）.....	25
電源ブレーカー（プリンター）.....	27
電源を入れる.....	29
電源を切る.....	30

と

トレイ操作パネル.....	27
---------------	----

は

排出口（フォルダー）.....	28
排出口（プリンター）.....	26

ふ

フォルダー操作パネル.....	28
フォルダートレイ.....	28
プリンター操作パネル.....	27
プリンタートレイ.....	26
プリント機能での注意/制限.....	67
コピー/スキャン操作中のプリント.....	67
スキャナー & コピー操作中のプリント.....	68
フロントドア（フォルダー）.....	28
フロントドア（プリンター）.....	27

ほ

本機使用上の注意/制限.....	58
機械操作上の注意点.....	58
電源を切るときの注意点.....	58
本機の設置/移動.....	58
本機を清掃する.....	45

め

メーター確認.....	36
メンテナンス用コネクター.....	25

よ

用紙トレイ.....	27
用紙について.....	48
用紙の種類.....	49
用紙の取り扱いと保管.....	49
用紙の補給/交換.....	31

り

リセットボタン.....	25
--------------	----

れ

レフトドア（上下）.....	27
----------------	----

ろ

ロール紙トレイ（下段）.....	27
ロール紙トレイ（上段）.....	27
ロール紙の交換/カット.....	31
ロアードア.....	27

こんなときには

● 共通のこと

Q1 電源が入っているのに、画面が真っ暗になっています。

A 節電モードになっています。

次の操作をすると、節電が解除されます。

- 操作パネルの〈節電〉ボタンを押す
- ジョブを受信する

● スキャンで困った

Q2 親展ボックスにどのくらいスキャンした文書を保存できますか？

A 約12 GBです。

定期的にはほかのパソコンに移動したり、不要な文書を削除してください。

Q3 マルチページで保存する場合、何ページまで保存できますか？

A 原稿や生成条件によって異なります。詳細については、「スキャン機能での注意 / 制限」(P.60)を参照してください。

Q4 親展ボックスの文書は削除できますか？

A 設定により、コンピューターに文書を取り込んだときに削除されます。

手動で削除することもできます。

● プリントで困った

Q5 画像欠け幅を教えてください。

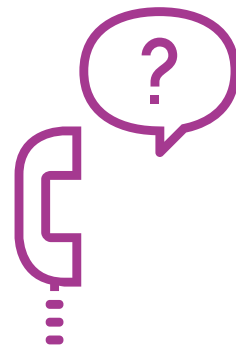
A ロール紙の画像欠け幅は先端8 mm、後端8 mm、左/右8 mm、カット紙の画像欠け幅は先端5 mm、後端5 mm、左/右5 mmです。

Q6 紙折りはできますか？

A オプションのフォルダーを接続している場合、紙折りは、ファン折りとクロス折りが設定できます。2,500 mm以上は、ジャバラ折り（第1折り）だけできます。

紙折りできる用紙の種類は、普通紙です。

「困った！」が 解決しないときは



保守・操作・修理（内容・期間・費用など）のお問い合わせ、消耗品のご注文は、カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

電話番号は、プリンター本体に貼付のカードやシールに書かれています。

受付時間 土曜、日曜、祝日を除く **9時～17時30分**（一部の地域では異なります）

電話番号 プリンター本体の **貼付カード** をご確認ください。

カードの例①

保守・操作の問い合わせ
(テレフォンセンター)
TEL.
FAX.
用紙・消耗品のご用命
TEL.
お手数ですが電話口の係員に下記の番号をお伝えください。
機種
機械 No.
メーター連絡票に記載されている
機種コード
FUJI XEROX

ここに書いてあります

電話番号

保守・操作の問い合わせ (テレフォンセンター)
TEL.
FAX.
用紙・消耗品のご用命 (商品センター)
TEL.
お手数ですが電話口の係員に下記の番号をお伝えください。
機種 機種 No.
メーター連絡票に記載されている機種コード
S-3064

カードの例②

FUJI XEROX
保守・操作のお問合せ
消耗品のご用命は
裏面の電話番号へご連絡ください

- カードは、名刺くらいの大きさです。
- 色やイメージが、イラストと異なる場合もあります。
- 問い合わせ先がわからない場合は、お客様相談センターで電話番号を確認してください。

- 本機を廃棄する場合は、弊社の営業担当者にご連絡ください。

ご意見やご相談の受付窓口

お客様相談センター 電話：0120-27-4100 (通話料無料)
FAX：0120-05-5035 (通話料無料)

- フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。
また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。

土、日、祝日および弊社指定休業日を除く 9時～12時、13時～17時
お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

商品全般に関する情報

公式サイト [URL http://www.fujixerox.co.jp/](http://www.fujixerox.co.jp/)

- 商品全般に関する情報、最新ソフトウェアなどを提供しています。

DocuWide 9098α かんたんガイド

著作者－ 富士ゼロックス株式会社

発行者－ 富士ゼロックス株式会社

発行年月－ 2019年9月 第1版

ME8735J1-1